

第33回

# 日本外来小児科学会年次集会

## 外来小児科学会の原点を求めて

会期

2024年9月7日(土)・8日(日)

会場

高山市民文化会館  
高山グリーンホテル

ガイド  
ブック

会頭 矢嶋 茂裕 (矢嶋小児科小児循環器クリニック)

実行委員長 八木 信一 (八木小児科医院)

事務局長 日高 啓量 (ひだかこどもクリニック)

2024  
高山





ヤヌスキナーゼ (JAK) 阻害剤

薬価基準収載

**リンヴォック錠** 30 mg  
15 mg

ウパダシチニブ水和物錠

**RINVOQ®**

劇薬 処方箋医薬品<sup>注)</sup>

注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

- 効能又は効果、用法及び用量、警告・禁忌を含む注意事項等情報等については電子化された添付文書(電子添文)を参照してください。

製造販売元

**アッヴィ合同会社**  
東京都港区芝浦3-1-21

(文献請求先及び問い合わせ先)  
くすり相談室  
フリーダイヤル 0120-587-874

2023年12月作成  
JP-RNQD-210208-4.0

abbvie

# CONTENTS

1. 会頭挨拶	3
2. 開催概要	4
3. 第33回日本外来小児科学会年次集会 実行委員	5
4. 会場のご案内	6
5. タイムスケジュール	8
6. 各種申込	12
7. ワークショップ	16
8. 特別企画	27
9. 各種講演	28
10. シンポジウム	31
11. 拡大ワークショップ	34
12. ハンズオンセミナー	36
13. 委員会企画	39
14. 日本小児科学会 小児診療初期対応 (Japan Pediatric Life Support : JPLS) コース	41
15. 小児 AMR 対策セミナー	42
16. 一般演題 募集要項	43
17. クリニック自慢大会 募集要項	44
18. 認定単位一覧	45
19. その他企画	46
20. 懇親会のご案内	48
21. 夕食プラン・エクスカージョンのご案内	49



# 1. 会頭挨拶

## ごあいさつ



第 33 回日本外来小児科学会年次集会  
会頭 矢嶋 茂裕  
(矢嶋小児科小児循環器クリニック)

第 33 回日本外来小児科学会年次集会を飛騨高山で開催します。この学会は他の学会にない特徴があり、参加者は医師だけでなく医院のスタッフなど多職種が参加できる学会です。その結果、規模としては二千人を超える参加者で賑わいますが、大都市でしか開催できなくなってきた側面もあります。2024 年は名古屋国際会議場が建て替えのため使用できなくなり、最終的には高山市民文化会館と高山グリーンホテルを使用しての開催としました。飛騨高山は観光地として有名ですが、コンベンションにも力を入れており、今回のような全国規模の学会開催をたいへん喜んでいただいております。宿泊施設は五千室に迫る充実度に加え、高山駅から学会会場、多くの宿泊施設が徒歩圏内です。さらには古い町並みなどの観光スポットまでも徒歩 15 分程度で行けますので勉強と観光を兼ねることもできます。このように地方都市においても年次集会が成功裏に終わることができれば今後の開催においても選択肢が増えるのではないのでしょうか。

さて、「外来小児科学会の原点を求めて」と聞いてどのようなことを連想しますか？私が初めて参加した年次集会は大宮で開催された第 10 回です。学会発足当初の話は伝聞だけですし、学会設立に尽力された徳丸実先生、五十嵐正紘先生にはお目にかかることもなく、故人となられてしまいました。特に五十嵐正紘先生は外来小児科学とは全く異なった先天性代謝異常の研究者としての経歴をお持ちです。ペルオキシソーム病の 1 つ、副腎白質ジストロフィー（ALD）という疾患は極長鎖脂肪酸が蓄積することが知られていますが、そのことを発見されたのが五十嵐先生でした。そして私は東京女子医大で小児循環器病学を研修した後、岐阜に戻ったときに教授から研究するように指導されたのが極長鎖脂肪酸分析でした。それ以来、全国から依頼された極長鎖脂肪酸分析のために週末は試験管振りからガスクロマトグラフィーという生活を何年も続けていました。まさに五十嵐先生の業績を追いかけるような研究をしていたのです。

本学会は開業医だけでなくこうした研究者や病院の勤務医の先生方、あるいは医師以外の方も入会し、臨床も研究もできる多様な人材の集まりであることを再認識して欲しいことから原点を探ってみたいと思った次第です。

従来の年次集会と違い、講演の企画を少数に絞り込み、講演については実行委員の誰がどのような気持ちで推薦したかを紹介文として入れました。これは主催者として講師をお呼びする上での責任と決意の表れです。会場選択の参考にしてください。

今夏には新型コロナが過去の話になり安心して現地参加できることと思います。これまで我慢してきた交流の場、そして久しぶりの観光の場としても飛騨高山は最適の地となることでしょう。多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

## 2. 開催概要

### 第33回日本外来小児科学会年次集会

テーマ：外来小児科学会の原点を求めて

年次集会ホームページ：<https://www.knt.co.jp/ec/2024/33sagpj/>



会場：高山市民文化会館 / 高山グリーンホテル  
会期：2024年9月7日（土）～8日（日）

#### オンデマンド配信期間：

年次集会参加者のみが入室可能な特設会場内で配信します。

開始	終了	配信演目	
8月26日（月）	9月20日（金）	一般演題発表動画	チャットを利用した質疑応答期間 9月6日（金）17:00まで
10月1日（火）	10月31日（木）	一部の現地プログラム 一般演題発表動画	対象のプログラムはタイムスケジュール（P8～11）で確認ください。

会頭：矢嶋 茂裕（矢嶋小児科小児循環器クリニック 院長）  
実行委員長：八木 信一（八木小児科医院 院長）  
事務局長：日高 啓量（ひだかこどもクリニック 院長）

運営事務局：近畿日本ツーリスト株式会社 岐阜支店

参加登録デスク：近畿日本ツーリスト株式会社 トラベルサービスセンター西日本  
〒550-0013 大阪市西区新町1-16-1 太陽日酸新町ビル6F  
TEL：0570-060-331 FAX：0570-029-184  
Email：33sagpj-toroku@or.knt.co.jp

運営サポート事務局：B-DOO コミュニケーションズ株式会社  
〒500-8155 岐阜県岐阜市市ノ坪町4丁目19番地  
TEL：058-213-0330 FAX：058-216-0776  
E-mail：sagpj33@b-doo.co.jp



公式 Instagram



公式 Facebook



公式 X

# 3. 第33回日本外来小児科学会年次集会 実行委員

## 会 頭

矢嶋 茂裕 (医師) 医療法人健児会 矢嶋小児科小児循環器クリニック (岐阜県岐阜市)

## 実行委員長

八木 信一 (医師) 医療法人社団 八木小児科医院 (富山県富山市)

## 事務局長

日高 啓量 (医師) 医療法人 H&H ひだかこどもクリニック (愛知県東浦町)

## 顧問 (五十音順)

垣内 征雄 高山市バスケットボール協会 名誉会長 (岐阜県高山市)  
川村 和久 (医師) かわむらこどもクリニック 院長 (宮城県仙台市)  
鈴木 英太郎 (医師) 鈴木小児科医院 名誉院長 (山口県宇部市)  
原 朋邦 (医師) はらこどもクリニック 院長 (埼玉県所沢市)  
堀 泰則 飛騨・高山観光コンベンション協会 会長 (岐阜県高山市)

## コア実行委員 (五十音順)

奥村 紀子 (医師) おくむらこどもクリニック (岐阜県岐阜市)  
鈴木 研史 (医師) 竜美ヶ丘小児科 (愛知県岡崎市)  
寺澤 大祐 (医師) 地方独立行政法人岐阜県総合医療センター (岐阜県岐阜市)  
中村 陽一 (医師) 医療法人たいようこどもクリニック (愛知県名古屋市)  
蜂谷 明子 (医師) 医療法人蜂正会 蜂谷医院 (岐阜県恵那市)  
日比 将人 (医師) 医療法人 OKC オーシャンキッズクリニック (愛知県知多市)  
松波 邦洋 (医師) 地方独立行政法人岐阜県総合医療センター (岐阜県岐阜市)  
村木 敬行 (医師) 河渡こどもクリニック (岐阜県岐阜市)  
和田 映子 (医師) 医療法人道雄会 和田クリニック (愛知県春日井市)

## 拡大実行委員 (五十音順)

赤尾 智子 (看護師) 医療法人健児会 矢嶋小児科小児循環器クリニック (岐阜県岐阜市)  
井村 美穂 (看護師) 医療法人 H&H ひだかこどもクリニック (愛知県東浦町)  
上荷 裕広 (薬剤師) 有限会社すずらん調剤薬局 (三重県亀山市)  
岡本 まゆ美 (看護師) 医療法人双優会 つつじが丘こどもクリニック (愛知県知多市)  
神谷 友美 (保育士) 医療法人健児会 矢嶋小児科小児循環器クリニック (岐阜県岐阜市)  
小林 隆徳 (理事長) 学校法人飛騨学園高山西高等学校 (岐阜県高山市)  
佐野 洋史 (医師) 医療法人スマイリーバードさのすこやかクリニック (愛知県名古屋市)  
瀬尾 智子 (医師) 医療法人笑山凱風会 緑の森こどもクリニック (愛知県岡崎市)  
高田 聡 (医師) たかだアレルギーとこどものクリニック (岐阜県多治見市)  
手塚 宜行 (医師) 岐阜大学大学院医学系研究科 感染症寄附講座 (岐阜県岐阜市)  
徳田 玲子 (医師) 医療法人徳田内科 徳田ファミリークリニック (三重県伊勢市)  
邊見 勇人 (医師) 医療法人チャイルドホームケア こども在宅クリニックもじゃ (愛知県名古屋市)

## 当日実行委員 (五十音順)

浅井 俊行 (医師) 医療法人優育会 キッズクリニックありす (岐阜県可児市)  
梅本 正和 (医師) うめもこどもクリニック (三重県津市)  
尾上 洋一 (医師) おのうえこどもクリニック (富山県滑川市)  
貝沼 圭吾 (医師) 医療法人悟りの会 貝沼内科小児科 (三重県四日市市)  
近藤 久 (医師) 医療法人久愛会 近藤小児科医院 (三重県桑名市)  
近藤 康人 (医師) 藤田医科大学ばんだね病院小児科 (愛知県名古屋市)  
阪下 和美 (医師) 特定医療法人生仁会 須田病院 (岐阜県高山市)  
新谷 尚久 (医師) しんたにこどもクリニック (富山県富山市)  
多賀谷 満彦 (医師) 医療法人梅香会 しらかべ耳鼻科・小児科 (愛知県名古屋市)  
玉垣 浩美 (医師) 玉垣医院 (三重県四日市市)  
浜道 美紀 (医師) 医療法人うえむらこども医院 (富山県富山市)

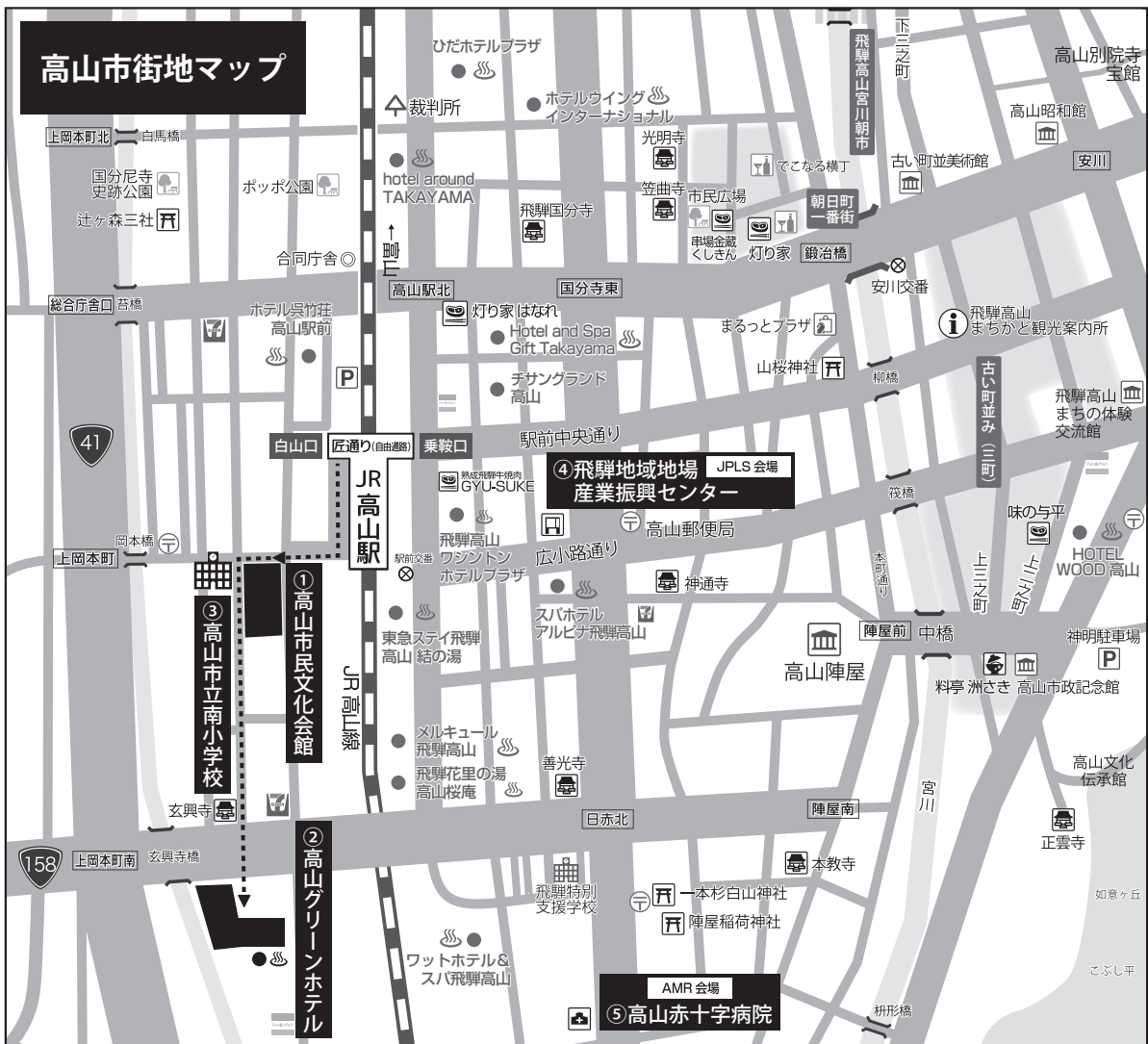
## 4. 会場のご案内

### 〈メイン会場〉

- ① 高山市民文化会館  
※ JR 高山駅「白山口」より徒歩 3 分  
※ 駐車場は利用いただけません。最寄りのコインパーキングもしくは、ご宿泊ホテルの駐車場を利用ください。
- ② 高山グリーンホテル ※高山市民文化会館より徒歩 5 分
- ③ 高山市立南小学校（受付）

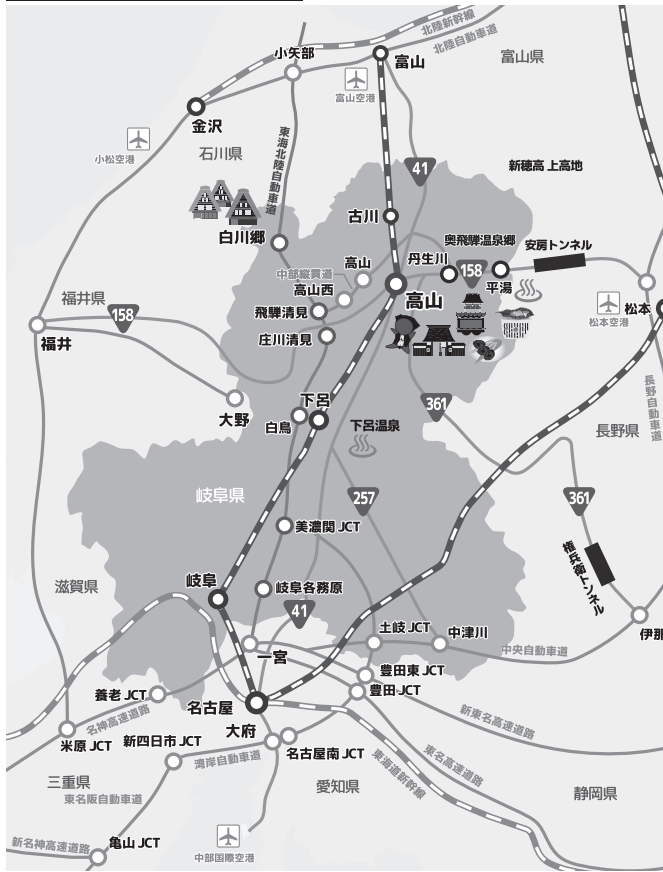
### 〈サテライト会場〉

- ④ 飛騨地域地場産業振興センター [小児診療初期対応 (JPLS) コース会場]  
JR 高山駅「乗鞍口」より徒歩 6 分
- ⑤ 高山赤十字病院 [小児 AMR 対策セミナー会場]  
JR 高山駅「乗鞍口」より徒歩 10 分





# 高山へのアクセス



## 《名古屋から高山への公共交通について》

- ※ JR と高速バスが交互に運行されておりますので時間帯によっては高速バスも便利です。  
(中部国際空港駅から名鉄名古屋駅まで、名鉄特急ミュースカイで約 30 分です)
- ※ JR 高山本線 (美濃太田から北区間) では交通系 IC カードはご利用いただけません。

## シャトルバスのご案内 (名古屋駅発着)

※事前予約制 申込締切: 2024 年 7 月 31 日 (水)

公共機関に加えて名古屋より年次集会参加者用の送迎バスを運行します。  
年次集会ホームページからお申込みください。

**名古屋線 片道 3,500 円** ※天候及び交通機関・道路状況、その他諸事情によってスケジュールが変更となる場合がございます

9 月 6 日 (金) JR 名古屋駅 → JR 高山駅		
N6-1	13:00	15:30
N6-2	15:30	18:00
N6-3	17:30	20:00
N6-4	19:30	22:00

9 月 8 日 (日) 高山市民文化会館 → JR 名古屋駅		
N8-1	13:30	16:00
N8-2	16:30	19:00

## ご宿泊について

年次集会参加者様 専用プラン申込締切: 2024 年 7 月 31 日 (水)

年次集会のホームページでご案内しております。お早目の予約をお勧めします。

※年次集会参加者様の専用プラン以外にも、和室・旅館などの様々なプランをご案内しています。  
市内の飲食店はとても混み合いますので、お食事付の宿泊プランも併せてご検討ください。

## 関東から

※乗り換え時間は含みません

東京駅 東海道新幹線 のぞみ 名古屋駅 高山本線 特急ワイドビューひだ 高山駅  
約 1 時間 45 分 約 2 時間 20 分

東京駅 北陸新幹線 かがやき 富山駅 高山本線 特急ワイドビューひだ 高山駅  
約 2 時間 8 分 約 1 時間 30 分

バスタ新宿 高速バス (京王電鉄バス・濃飛バス) ※要予約 高山濃飛バスセンター (高山駅東口)  
約 4 時間 30 分 平湯温泉 約 1 時間

調布 自動車中央道・長野道 松本IC R158 平湯温泉 R158 高山  
約 2 時間 8 分 約 1 時間 約 50 分

## 関西から

※乗り換え時間は含みません

新大阪駅 東海道新幹線 のぞみ 名古屋駅 高山本線 特急ワイドビューひだ 高山駅  
約 50 分 約 2 時間 20 分

大阪駅 大阪・高山直通 特急ワイドビューひだ 岐阜駅 高山本線 高山駅  
約 4 時間 15 分

大阪なんば 高速バス (近鉄バス・濃飛バス) ※要予約 約 5 時間 30 分 高山濃飛バスセンター (高山駅東口)  
約 15 分 大阪駅前 約 55 分 京都駅 約 190 分 都上八幡 約 70 分

豊中IC 名神高速 一宮JCT 東海北陸道 飛騨清見IC 中部縦貫道 高山IC 高山  
約 2 時間 約 90 分 約 20 分 約 10 分

## 中部から

※乗り換え時間は含みません

名古屋駅 特急ワイドビューひだ 岐阜駅 東海道線・高山本線 高山駅  
約 22 分 約 2 時間 11 分

名鉄バスセンター 高速バス (名鉄・JR 東海・濃飛) ※要予約 高山濃飛バスセンター (高山駅東口)  
名古屋駅 約 2 時間 50 分

名古屋IC 名神高速 一宮JCT 東海北陸道 飛騨清見IC 中部縦貫道 高山IC 高山  
約 10 分 約 90 分 約 20 分 約 10 分

# 5. タイムスケジュール

9月7日 (土)

施設名	階	会場名	8:00		9:00		10:00		11:00		
				30		30		30		30	
高山市民文化会館	1F	第1会場 大ホール			開 会 式	OD	委員会企画1 授乳と補完食（離乳食）を科学的に支援しよう！				
		第2会場 小ホール				OD	シンポジウム 1-1 スムーズな診療科連携を目指して本音で語る①				
	2F	第3会場 2-5 会議室				申	ハンズオンセミナー 1 発達検査 特に WISC-V を読み解くために				
	3F	第4会場 3-11 講堂					会頭企画 「患者さんから学ぶ」				
	2F	WS会場1 2-1 練習室				申	ワークショップ A-WS-01 日本にも社会小児科学を根付かせよう				
		WS会場2 2-2 練習室									
		WS会場3 2-3 練習室				申	ワークショップ A-WS-02 診療や1歳6か月児健診で役立つ 『子どもの「あし」と「くつ」の基本知識と活用法』				
	3F	WS会場4 3-1 音楽室									
		WS会場5 3-3 学習室				申	ワークショップ A-WS-03 小児科診療所における心理職の実態とスキルアップの道筋				
		WS会場6 3-4 学習室				申	ワークショップ A-WS-04 三方よし！院長、スタッフ、患者さんも満足なクリニック LINE 活用術				
		WS会場7 3-10 美術工芸室									
	4F	WS会場8 4-4 中会議室									
		WS会場9 4-9 中会議室 2									
2F	休憩会場 2-6 展示室										
高山グリーンホテル	桜凜閣 1F	第5会場 瑞祥				OD	一般演題				
		第6会場 瑞祥				申	拡大ワークショップ1 明日から使えるカウンセリング！				
	本館 2F	第7会場 鳳凰					スポンサー企画				
		第8会場 天月									
		第9会場 天水									
		第10会場 天風									
	第11会場 天山										
飛騨地域地場産業 振興センター	4F	JPLS サテライト会場 展示場									

(単)…認定単位  
 (申)…事前申込  
 [OD]…オンデマンド配信

12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00		18:00	
		30		30		30		30		30		30	
全体集会				[OD] 特別講演 1 子どもの強みを伸ばし、 家族に寄り添う				会頭特別企画					
[OD] 会頭講演 外来小児科学会の原点を求めて				[OD] 教育講演 1 (単) 歩きが変わる!子どもが変わ る!靴のチェックポイント									
				委員会企画 2 生涯学習委員会				(単) 委員会企画 3 倫理審査委員会・倫理講習会					
				委員会企画 4 園学校保健委員会									
				(申) ワークショップ P-WS-01 電話応対を活用した保護者支援									
				(申) ワークショップ P-WS-02 災害対策 -II その対策で大丈夫?									
				(申) ワークショップ P-WS-03 乳幼児の姿勢運動発達の質的な向上のための具体的な指導を学ぶ									
				(申) ワークショップ P-WS-04 親と子への服薬支援 その8 “くすり”についてよろず相談します～									
				(申) ワークショップ P-WS-05 熱性けいれん どう対応しますか?									
				(申) ワークショップ P-WS-06 子どもの貧困に気づき支援するために part8									
				(申) ワークショップ P-WS-07 離乳食を食べない赤ちゃん、どうしましょう?									
				(申) ワークショップ P-WS-08 クリニック内の急変対応、みんなどうしてる?!									
折り紙コーナー													
(申) ランチョンセミナー 1						クリニック自慢大会 伝えたい・聞いてほしいクリニックでのあんなこと・こんなこと							
(申) ランチョンセミナー 2						スポンサー企画							
(申) ランチョンセミナー 3						スポンサー企画							
(申) ランチョンセミナー 4													
(申) ランチョンセミナー 5													
(申) ランチョンセミナー 6													
(申) ランチョンセミナー 7													
(単) (申) 日本小児科学会 小児診療初期対応 (JPLS) コース													

9月8日(日)

施設名	階	会場名	8:00	9:00	10:00	11:00
				30	30	30
高山市民文化会館	1F	第1会場 大ホール			①② (単) シンポジウム2 ドクター小枝企画プロデュース ～エキスパートから学ぶ神経発達症の臨床	
		第2会場 小ホール			①② シンポジウム1-2 スムーズな診療科連携を目指して本音で語る②	
	2F	第3会場 2-5 会議室			① ハンズオンセミナー2 湿潤療法	
	3F	第4会場 3-11 講堂			① 拡大ワークショップ2 小児診療初期対応 (JPLS) を知って繋いで日々の診療をパワーアップ!	
	2F	WS会場1 2-1 練習室			① ワークショップ S-WS-01 ウイルス性呼吸器感染症に対する漢方治療	
		WS会場2 2-2 練習室			① ワークショップ S-WS-02 少子化時代の小児科クリニックについて話し合いませんか (いなか小児科WS)	
		WS会場3 2-3 練習室			① ワークショップ S-WS-03 マーラーのフィルムから学ぶ再接近期 (いやいや期) の子ども達	
	3F	WS会場4 3-1 音楽室			① ワークショップ S-WS-04 子どもの姿勢の崩れや歩き方、気になりませんか? 家庭でも、園や学校でも出来る (子どもの運動発達に基づいた) 運動を実際に行ってみましょう! (理論編と実践編)	
		WS会場5 3-3 学習室			① ワークショップ S-WS-05 小児科外来でのきょうだいの関係における諸問題への対応	
		WS会場6 3-4 学習室			① ワークショップ S-WS-06 「他所はどうしてる?」うちではこのようにして予防接種をしています。Part2	
		WS会場7 3-10 美術工芸室				
	4F	WS会場8 4-4 中会議室			① ワークショップ S-WS-07 Baby-Led Weaning ～赤ちゃんの食べる意欲を育む離乳食の進め方～	
		WS会場9 4-9 中会議室2			① ワークショップ S-WS-08 【診療部会メディカルスタッフ担当企画】集まれ! メディカルスタッフ)	
2F	休憩会場 2-6 展示室				折り紙コーナー	
高山グリーンホテル	桜涼閣 1F	第5会場 瑞祥			スポンサー企画	
		第6会場 瑞祥			① ハンズオンセミナー3 脱マスク、子どもたちに笑顔を届けよう	
	本館 2F	第7会場 鳳凰			スポンサー企画	
		第8会場 天月				
		第9会場 天水				
		第10会場 天風				
第11会場 天山						
南小学校	1F	調理実習会場 家庭科室			① ハンズオンセミナー4 食物アレルギー岐阜県産米粉で Let's enjoy Cooking	
	2F	外科手術体験会場 理科室	① 第7回 小児AMR対策セミナー 教育講演3 地域で始めるAMR対策 ～なぜ、カゼに抗菌薬 は必要ないのか?～		地域こども交流企画 (市民参加用) こども外科手術体験	
高山赤十字病院	本館 3F	AMR サテライト会場 講堂			① 第7回小児AMR対策セミナー 地域で実施されているAMR対策に関する事例紹介	



## 6. 各種申込

年次集会ホームページでご案内、お申込を受付けます。  
<https://www.knt.co.jp/ec/2024/33sagpj/>



### スケジュール一覧

参加登録・申込関連	開始	締切
年次集会参加登録（早期参加登録）	4/15（月）	7/31（水）
年次集会参加登録（直前参加登録）	8/26（月）	9/8（日）
ワークショップ参加申込	4/24（水）	6/20（木）
拡大ワークショップ・ハンズオンセミナー参加申込	4/24（水）	7/31（水）
ランチョンセミナー参加申込	4/24（水）	7/31（水）
日本小児科学会 小児診療初期対応（JPLS）コース参加申込	5月初旬	6/7（金）
第7回小児 AMR 対策セミナー参加申込	4月中旬	8月中旬
懇親会（高山グリーンホテル）参加申込	4/15（月）	7/31（水）
夕食／エクスカーション ／シャトルバス申込（名古屋駅⇄会場）	4/24（水）	7/31（水）
託児サービス申込	4/15（月）	7/31（水）
演題募集関連	開始	締切
一般演題募集／クリニック自慢大会 発表申込	4/15（月）	5/17（金）
パネル展示／患者家族の会・支援者の会展示申込	4/15（月）	5/17（金）

### お問合せ先

参加登録デスク：近畿日本ツーリスト株式会社 トラベルサービスセンター西日本  
〒550-0013 大阪市西区新町1-16-1 太陽日酸新町ビル6F  
TEL：0570-060-331 FAX：0570-029-184 Email：33sagpj-toroku@or.knt.co.jp

※パネル展示／患者家族の会・支援者の会展示は、下記にお問合せください。

運営サポート事務局：B-DOO コミュニケーションズ株式会社  
〒500-8155 岐阜県岐阜市市ノ坪町4丁目19番地  
TEL：058-213-0330 FAX：058-216-0776 E-mail：sagpj33@b-doo.co.jp

※託児サービスについては、下記にお問合せください。

NPO 法人 ひなたぼっこ・ぎふ  
TEL：058-214-7077 E-mail：uribou@toukai.me

## 年次集会参加登録

### 早期参加登録：2024年4月15日（月）～7月31日（水）

※8月下旬に参加証（名札）をお送りします。

※4月23日（火）17：00～4月24日（水）12：00の間、ワークショップ申込開始のメンテナンスのため、参加登録システムを停止しますのでご注意ください。

### 直前・当日参加登録：2024年8月26日（月）～9月8日（日）

※参加証は、会場の受付でお渡しします。（事前にオンライン登録を行ってから来場ください。）

参加登録費	早期参加登録	直前・当日参加登録	消費税区分
医師・歯科医師・一般（会員）	★ 20,000 円	20,000 円	不課税
医師・歯科医師・一般（非会員）	★ 22,000 円	22,000 円	税込 10%
メディカルスタッフ（会員）	★ 8,000 円	8,000 円	不課税
メディカルスタッフ（非会員）	★ 10,000 円	10,000 円	税込 10%
初期研修医	3,000 円	3,000 円	税込 10%
学生（大学生・専門学生）	無料	無料	-----
懇親会（高山グリーンホテル）	10,000 円	10,000 円 *空きがある場合のみ 会場申込可	税込 10%
プログラム・抄録集	2,000 円	2,000 円 *現地販売	税込 10%

※★印（早期参加登録された「医師・歯科医師・一般」「メディカルスタッフ」）には「さるぼぼコイン」2,000円（お一人）を現地会場でお渡しします。お渡し期間内にお受取りがない場合は権利無効となります。

「さるぼぼコイン」：飛騨地域限定の電子地域通貨（高山市・飛騨市・白川村の加盟店（約1,900店舗）で利用可能）

※8月26日（月）から開始のオンデマンド配信は、参加登録費をお支払い後に視聴可能です。

※プログラム・抄録集は学会誌（外来小児科 第27巻第3号）として、会員は全員に事前送付されます。非会員の方でご希望される方は、早期参加登録時に購入ください。事前送付致します。

開催当日に会場販売も致しますが、数に限りがございますため、売り切れの際はご容赦ください。

※「学生」の方は学生証のデータを、初期研修医の方は所定の申請書を参加登録システムからアップロードしてください。提出がない場合は「一般」の区分になります。

※「看護学生」であっても医療機関で勤務している場合は「メディカルスタッフ」の区分になります。

※「小児科に関わる職種のうち、医師以外のスタッフ」をメディカルスタッフと表現しています。

※決済完了後の参加登録費の返金は、理由の如何に関わらず致しかねます。



### 【認定単位について】（P45 参照）

本会への参加で、以下の認定単位が取得可能です。

- ・日本小児科学会 / 日本専門医機構 専門医更新 参加単位 iv) B : 1 単位
- ・日本小児科医会・地域総合小児医療認定医：生涯研修単位 10 単位
- ・日本小児神経学会・小児神経専門医制度研修会：2 単位
- ・日本薬剤師研修センター 研修認定単位、小児薬物療法認定薬剤師 更新単位  
（どちらか一方のみ 現地会場での手続きが必要です）

その他、認定対象の演目は、P45 を参照してください。

以降、詳細はホームページでご案内して参ります。

### ワークショップ参加申込（P16 参照）

#### 申込期間：2024年4月24日（水）12：00～6月20日（木）23：59

お申込には年次集会の参加登録が必要です。年次集会の参加登録システム内で申込を受付けます。

## 【ワークショップ開催日時】

ワークショップの内容・詳細は P17 以降を参照してください。

- ・9月7日（土）午前：9：00～11：10/11：30
- ・9月7日（土）午後：15：00～17：10/17：30
- ・9月8日（日）午前：9：00～11：10/11：30

## 【ご注意】

※**申込開始日は非常に混みあいます。**

ご希望のワークショップをスムーズに申し込みたいため、年次集会の参加登録を事前にお済ませいただくことをお勧めします。なお、4月23日（火）17：00～4月24日（水）12：00の間、ワークショップ申込開始のメンテナンスのため、参加登録システムを停止しますのでご注意ください。

※**各ワークショップの参加条件をご確認の上、お申込みください。**

参加条件が満たされていない場合は、参加をお断りさせていただく場合がございますのでご注意ください。  
※途中入室はできません。

※有料のワークショップに参加の場合は、現地会場でワークショップリーダーにお支払ください。

※終了後に、すべての参加者・リーダーを対象にアンケートを実施します。ご協力をお願いします。

## 拡大ワークショップ・ハンズオンセミナー参加申込（P34～参照）

**申込期間：2024年4月24日（水）～7月31日（水）**

お申込には年次集会の参加登録が必要です。年次集会の参加登録システム内で申込を受付けます。

募集の詳細は、各案内ページをご確認ください。

有料のハンズオンセミナーに参加の場合は、現地会場でお支払ください。

【**拡大ワークショップ**】（P34～参照）

1. 明日から使えるカウンセリング！
2. 小児診療初期対応（JPLS）を知って繋いで日々の診療をパワーアップ！

【**ハンズオンセミナー**】（P36～参照）

1. 発達検査 特に WISC-V を読み解くために（有料）
2. 湿潤療法～ほんの少しの勇気を持ってください！さあ始めよう湿潤療法！！～
3. 脱マスク、子どもたちに笑顔届けよう～みんなに好かれる好印象メイク術～
4. 食物アレルギー 岐阜県産米粉で Let's enjoy Cooking（有料）

## その他 サテライト会場プログラム参加申込

下記は、年次集会の参加登録サイトとは別に申し込みを受け付けています。

詳細は、各案内ページをご確認ください。

**日本小児科学会 小児診療初期対応（JPLS）コース**（P41 参照）

**申込期間：2024年5月初旬～6月7日（金）**

※ JPLS コースのみ参加の方は、第 33 回日本外来小児科学会年次集会の参加登録は不要です。

**第 7 回 小児 AMR 対策セミナー**（P42 参照）

**申込期間：2024年4月中旬～8月中旬**

※小児 AMR 対策セミナーのみ参加の方は、第 33 回日本外来小児科学会年次集会の参加登録は不要です。

## ランチョンセミナー参加申込

**申込期間：2024年4月24日（水）～7月31日（水）**

お申込には年次集会の参加登録が必要です。年次集会の参加登録システム内で申込を受付けます。

※空席があるセミナーは、当日参加できます。（先着順で整理券を配布予定）

【**ランチョンセミナー開催日時**】

- ・9月7日（土）11：50～12：50
- ・9月8日（日）11：50～12：50

ランチョンセミナーの演目は4月中旬を目処に年次集会ホームページで公開します。



## 懇親会参加申込 (P48 参照)

申込期間：2024年4月15日(月)～7月31日(水)

参加者の懇親と情報交換の場として懇親会を行います。お申込には年次集会の参加登録が必要です。年次集会の参加登録システム内で事前申込を受付けます。事前申込で満員の場合は、当日参加の受付は行いません。事前のお申込みをお勧めします。

日 時：9月7日(土) 18:00～20:30

会 場：高山グリーンホテル 天山

参加費：10,000円(税込) お一人あたり

## 夕食プラン申込 (P49 参照)

申込期間：2024年4月24日(水)～7月31日(水)

設定日 9月7日(土)の夕食

飛騨の郷土料理をはじめ飛騨牛自慢のお店をご案内します。

市内の飲食店は非常に混み合いますので事前の予約をお勧めします。

年次集会ホームページのご案内で、詳細をご確認の上お申込みください。

## エクスカッション参加申込 (P49 参照)

申込期間：2024年4月24日(水)～7月31日(水)

設定日 9月7日(土)・9月8日(日)(日帰り)

料亭の昼食プラン、世界遺産白川郷、上高地など、日帰りツアーをご用意しております。

年次集会ホームページのご案内で、詳細をご確認の上お申込みください。

## シャトルバス(名古屋駅発着)申込 (P7 参照)

申込期間：2024年4月24日(水)～7月31日(水)

年次集会参加者様用のシャトルバスを設定しました。(有料)

年次集会ホームページで詳細をご確認の上、お申込みください。

## 一般演題募集 クリニック自慢大会 発表申込 (P43・44 参照)

申込期間：2024年4月15日(月)～5月17日(金)(採否通知6月末)

各募集要項をご確認の上、年次集会ホームページよりお申込みを行ってください。

## パネル展示募集

申込期間：2024年4月15日(月)～5月17日(金)(採否通知6月末)

年次集会ホームページで詳細をご確認の上お申込みください。

### 1. 院内報(誌)の展示

各医療機関で発行している院内報をそのまま展示してください。

### 2. 医療保育ネットワーク等の展示

外来診療の場での、保育士 他のみなさんのご活躍をご紹介ください。

## 患者家族の会・支援者の会展示募集

申込期間：2024年4月15日(月)～5月17日(金)(採否通知6月)

年次集会ホームページで詳細を確認の上お申込みください。

## 託児サービス申込

申込期間：2024年4月15日(月)～7月31日(水)

利用料金：ひとり1日3,000円(短時間でも同一料金)※当日支払い

事前申込が必要です。右記QRコードの専用フォームからお申込みください。

お問い合わせ：NPO法人ひなたぼっこ・ぎふ

TEL：058-214-7077 E-mail：uribou@toukai.me



# 7. ワークショップ

## ワークショップ一覧

9月7日（土） 午前

WS 番号	テーマ	会場	時間	リーダー	定員 (名)
A-WS-01	日本にも社会小児科学を根付かせよう	WS 会場 1	9:00～11:30	武内 一	20
A-WS-02	診療や1歳6か月児健診で役立つ『子どもの「あし」と「くつ」の基本知識と活用法』	WS 会場 3	9:00～11:30	吉村 真由美	48
A-WS-03	小児科診療所における心理職の実態とスキルアップの道筋	WS 会場 5	9:00～11:30	芦谷 将徳	24
A-WS-04	三方良し！院長、スタッフ、患者さんも満足なクリニック LINE 活用術	WS 会場 6	9:00～11:10	谷口 梢	22

9月7日（土） 午後

P-WS-01	電話応対を活用した保護者支援	WS 会場 1	15:00～17:30	福井 聖子	20
P-WS-02	災害対策 - II その対策で大丈夫？	WS 会場 2	15:00～17:10	萱場 潤	24
P-WS-03	乳幼児の姿勢運動発達の質的な向上のための具体的な指導を学ぶ	WS 会場 3	15:00～17:30	有瀧 愉子	30
P-WS-04	親と子への服薬支援 その8 "くすり"についてよろず相談します～	WS 会場 5	15:00～17:30	上荷 裕広	22
P-WS-05	熱性けいれん どう対応しますか？	WS 会場 6	15:00～17:10	伊藤 純子	20
P-WS-06	子どもの貧困に気づき支援するために part8	WS 会場 7	15:00～17:30	和田 浩	24
P-WS-07	離乳食を食べない赤ちゃん、どうしましょう？	WS 会場 8	15:00～17:10	佐野 洋史	30
P-WS-08	クリニック内の急変対応、みんなどうしてる？！ ～メディカルスタッフとしてできること、一緒に考えよう！～	WS 会場 9	15:00～17:10	野村 さちい	24

9月8日（日） 午前

S-WS-01	ウイルス性呼吸器感染症に対する漢方治療～急性期から慢性期の漢方治療戦略を考える～	WS 会場 1	9:00～11:30	森 蘭子	20
S-WS-02	少子化時代の小児科クリニックについて話し合いませんか（いなか小児科 WS）	WS 会場 2	9:00～11:10	橋本 裕美	24
S-WS-03	マーラーのフィルムから学ぶ再接近期（いやいや期）の子ども達 ～その対応と混乱する保護者へのアドバイスを考える～	WS 会場 3	9:00～11:30	松原 徹	48
S-WS-04	子どもの姿勢の崩れや歩き方、気になりますか？家庭でも、園や学校でも出来る（子どもの運動発達に基づいた）運動を実際に見てみましょう！（理論編と実践編）	WS 会場 4	9:00～11:30	千葉 智子	30
S-WS-05	小児科外来でのきょうだい関係における諸問題への対応	WS 会場 5	9:00～11:30	荒川 明里	24
S-WS-06	「他所はどうしてる？」うちではこのようにして予防接種をしています。Part2	WS 会場 6	9:00～11:30	中村 豊	15
S-WS-07	Baby-Led Weaning ～赤ちゃんの食べる意欲を育む離乳食の進め方～	WS 会場 8	9:00～11:10	尾形 夏実	30
S-WS-08	【診療部会メディカルスタッフ担当企画】 集まれ！メディカルスタッフ♪ ～みんなで語ろう！メディカルスタッフの悩み事～	WS 会場 9	9:00～11:10	秦 一裕	30

<b>A-WS-01</b>		<b>日本にも社会小児科学を根付かせよう</b>	
[リーダー] 武内 一 (佛教大学社会福祉学部) [サブリーダー] 佐藤 洋一 (和歌山生協病院小児科)			
社会小児科学について、参加いただいた皆さんと深め合いたいと思っています。 今回が第2回目になりますが、初めての参加の皆さんも大歓迎です。例えば、困っている家族を社会資源に繋ぐことは重要だけれど、臨床の現場で気づけるのかなあ、気付けても社会資源が限られる問題もありそう・・・そういったみなさんの現場の悩みを共有し合い、社会小児科学という分野が持続した学問分野として受け入れられるように、イメージを共有していけたらいいなと思っています。 健康の社会的決定要因 (SDH) の視点からも、子どもの健康に対するグローバルで全人的学際的アプローチである社会小児科学への理解を深めていくことは大事だと思っています。ぜひ、一緒に新しい小児科学の分野を根付かせていきましょう。 今回は、国立成育医療センターに総合診療部門を設立されたアメリカ、カリフォルニアのジョン高山さんに、ZoomでWSを通してご参加いただく予定です ( <a href="https://www.ucsfbenioffchildrens.org/providers/dr-john-takayama">https://www.ucsfbenioffchildrens.org/providers/dr-john-takayama</a> )。 若い世代、幅広い専門職と繋がりながら、学会でも位置づけられることを願っての取り組みです。小児科医だけでなく、ぜひ幅広い世代と職種の皆さんにご参加いただき、自由に広がりのある話ができればいいなと思っています。どうぞよろしくをお願いします。			
開催形式	問題解決型と研修型の混合型	参加可能な職種 / その他の条件	
定員	20名	制限なし 社会の中で子どもたちをみることに興味のある小児医療関係者の方	
1施設あたりの申込制限	制限なし		
当日参加	空きがあれば可		
参加費	無料		

<b>A-WS-02</b>		<b>診療や1歳6か月児健診で役立つ『子どもの「あし」と「くつ」の基本知識と活用法』</b>	
[リーダー] 吉村 眞由美 ((公財)日本学校体育研究連合会・日本靴医学会 小児の足と靴を考える委員会) [サブリーダー] 谷村 聡 (たにむら小児科)			
子どもの成長における大きなイベントに、歩行の開始と靴を履き始めることがある。子育て支援施設での講座に行くと、「初めての靴選びは分からないことだらけで戸惑いながら選んでいる」という声をよく聞く。日本では中高の家庭科で衣服のことは過剰なくらい学ぶのに、靴について学ぶ機会はこれまでなかった。今もそれに変わりはない。そのため、子どもが歩き始めると、ネット情報で溢れている真偽のわからない情報を参考にして靴のメーカーを決め、昔からの定説「ちょっと大き目のサイズ」であいまいな基準の大きい靴を選ぶが、なお不安を感じ続けている保護者が数多く存在しているのが実情である。 では、保育所やこども園の先生は靴の知識があるのか？保育専門学校や保育学科の教科書を調べてみると、靴は「足に合ったもの」「履きやすいもの」「しっかり履かせる」という言葉が2行程度で書かれているのが昔からの定番であり、最新の教科書でも、子ども靴の具体的な説明は皆無であった。これらのことから、保育者でも、乳幼児の足と靴の具体的な知識を学ぶチャンスはなく、個人の経験をもとに靴指導をするしかないのが現状だといえよう。 そこで、最新の知見に基づく「乳幼児の健全な成長を促す靴の基本知識」を会員の皆様に学んでいただき、ぜひ診療や1歳6か月児健診に生かして頂きたい。ワークショップは、以下の5つのアクティビティから構成される。導入…靴の履き方とサイズ選びの誤解を解説、実技1…普段の履き方に疑問を持つ、実技2…足の計測⇒足に適合した靴サイズを調べてみよう、実技3…適合した靴を履いて「適合感と足感覚」を体験、講義…足育と靴教育の基本知識①成長過程に応じた靴の形状②足の計測と靴サイズ③正しい履き方を知る。今回で2年目の開催。盛りだくさんの充実した内容で、すぐに役立つ幅広い知識を得ていただく予定である。			
開催形式	問題解決型と研修型の混合型	参加可能な職種 / その他の条件	
定員	48名	制限なし	
1施設あたりの申込制限	2名まで		
当日参加	不可		
参加費	無料		

<b>A-WS-03</b>	<b>小児科診療所における心理職の実態とスキルアップの道筋</b>	
[リーダー]	芦谷 将徳	(福岡大学/おおやこどもクリニック)
[サブリーダー]	原口 喜充	(近畿大学九州短期大学/くぼたこどもクリニック)
	大谷 多加志	(京都光華女子大学/橋本こどもクリニック)
	平野 仁弥	(帝塚山大学こころのケアセンター/くぼたこどもクリニック)
	藤井 雅世	(藤井こどもクリニック)
	久保田 恵巳	(くぼたこどもクリニック)
<p>過去のワークショップでは「外来小児科における心理職の活用」と「小児科外来における心理職の活用と発展」に焦点を当て、小児科で働く心理職の活動の整理、架空事例の検討を通し、メディカルスタッフと心理職の視点の異同について検討してきた。</p> <p>課題として、心理職の採算性と小児科診療所でのスキルアップの場の不足の2点が明らかとなった。</p> <p>そこで、本ワークショップでは、①心理職の活動実態の整理と②小児科診療所で働く心理職の体系的なスキルアップのためのクリニカルラダー作成を到達目標とする。①は実際に小児科診療所に勤務する心理職より具体的な活動内容及びケース数や検査数を示しながら、質的・量的な側面から、心理職の実態について整理を試みる。②については、他の職種の方々とのディスカッションを通して、現場でのニーズや課題に即したスキルアップの道筋を共有しながらクリニカルラダーの作成を行う。</p> <p>このワークショップを通じて、小児科診療所における心理職の活動の理解を深め、スキルアップのための具体的な取り組みを検討する。</p>		
開催形式	問題解決型と研修型の混合型	参加可能な職種 / その他の条件
定員	24名	制限なし
1施設あたりの申込制限	制限なし	
当日参加	空きがあれば可	
参加費	無料	

<b>A-WS-04</b>	<b>三方よし! 院長、スタッフ、患者さんも満足な クリニック LINE 活用術</b>	
[リーダー]	谷口 梢	(オーシャンキッズクリニック)
[サブリーダー]	西田 純久	(キッズクリニックサンタ)
	伊藤 依里	(オーシャンキッズクリニック)
<p>現代におけるSNS(ソーシャルネットワーキングサービス)の普及は、個人から法人にまで広がっています。その中でもLINEは、子育て世代である20代~40代の利用率は90%以上であり、既に生活インフラ化しているSNSです。そのため、様々な業種がLINEをビジネスに導入しており、医療機関においても例外ではありません。しかし、多くの施設ではLINEが一方通行の情報発信ツールとしてのみ使われがちで、院長のみが取り組み、負担が増えるとの理由で導入されない場合もあります。</p> <p>本ワークショップでは、医療機関におけるLINE運用の課題を話し合い、お互いの活用方法を共有します。各施設がLINEを活用して患者との双方向コミュニケーションを強化し、業務負担を軽減しつつ、患者満足度をあげる方法を模索したいと思います。このワークショップを通じて、LINEを用いた医療コミュニケーションの新たな展開方法を学び、実践することで、院長、スタッフ、そして患者さん全員にとっての「三方よし」を実現する一歩にしたいと思います。</p>		
開催形式	問題解決型と研修型の混合型	参加可能な職種 / その他の条件
定員	22名	看護師、事務職 自施設で公式LINEアカウント運用に携わる方、又は、運用に興味のある方
1施設あたりの申込制限	2名まで	
当日参加	空きがあれば可	
参加費	無料	

<b>P-WS-01</b>		<b>電話対応を活用した保護者支援</b>	
[リーダー]	福井 聖子	(特定非営利活動法人 小児救急医療サポートネットワーク)	
[サブリーダー]	宮下 佳代子	(大阪公立大学大学院看護学研究科)	
	廣岡 由紀子	(特定非営利活動法人 小児救急医療サポートネットワーク)	
<p>電話の自動応答やWEB問診システム導入が進み、つながる電話は「直接聞きたい何か」がある相談希望が多いと推測されます。オンライン診療が普及しても予約が取れない場合や診療には至らない相談の場合、電話を選択されるのではないのでしょうか。電話で聞きたいことの内容を検討すると、保護者が家庭でどのようなことに困っているのかを推察できて、保護者支援に役立ちます。</p> <p>WSでは、電話の会話の特性についての講義に続き、グループワーク(GW)を行います。GWではモデル会話の音声を聴き、電話の会話が保護者にとってどのような印象を与えるか意見交換を行い、保護者の立場に立って話をよく聴くことの大事さとスキルを考えます。他施設の参加者と共に楽しく意見交換するなかで視野を広げ、自ら語ることで学びにつなげます。また、どのような内容の電話が多いのか、電話で困ることについて事前アンケートを行い、WSに反映します。</p> <p>当団体は大阪府#8000の相談事業を担当していて、電話相談から得た知見を本学会のWSに反映してきました。電話相談は保護者支援のツールとして有用であり、過去の参加者からは「保護者の立場で考えることの重要性に気づいた」等の感想を得ていますが、近年はWEBの導入や、メールやLINEなどのやり取りが多い保護者が増えたことにより、クリニックで対応する電話の内容も変化していることが想定され、改めて今の時代の保護者支援を考える機会としたいと考えています。</p> <p>参加費は電話相談のテキスト代で、職種によって重要な部分は異なることを説明し、クリニックのチームワークについても考えを深める機会としています。</p>			
開催形式	研修型	参加可能な職種 / その他の条件	
定員	20名	制限なし	
1施設あたりの申込制限	2名まで		
当日参加	空きがあれば可		
参加費	1,500円		

<b>P-WS-02</b>		<b>災害対策 - II その対策で大丈夫?</b>	
[リーダー]	萱場 潤	(かやば小児科医院)	
[サブリーダー]	岡空 輝夫	(岡空小児科医院)	
	新谷 尚久	(しんたにこどもクリニック)	
<p>本WSは職種を問わず医師、事務、看護師、薬剤師などで新型コロナの影響下、事前にアンケートを実施し、その回答と、大規模災害を経験した参加者より災害時、災害後の医療の提供、クリニックの防災対応について議論したい。前回の結論として多くの施設が何らかの災害対策をしていたが、その内容はヘルメットや食料品の備蓄から、ワクチン等の保管、発電機、大容量バッテリーなど診療を継続するための備えなど様々であり、前回令和4年第31回日本外来小児科学会年次集会で取り上げた議論や対策が十分機能するものであるのかを、令和6年1月1日能登半島地震を契機に再考、評価してみたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>アンケート結果と停電対策、高額となるワクチン等、冷蔵、冷凍医薬品の保存</li> <li>クリニックの経験と対策の紹介</li> <li>クリニック対策の対比用効果と不足点</li> <li>災害の多様性と想定外のポイント</li> <li>発災急性期とその後への対策</li> </ol>			
開催形式	問題解決型	参加可能な職種 / その他の条件	
定員	24名	医師、看護師、薬剤師、事務職 所属の医療機関の対策を共有いただける方	
1施設あたりの申込制限	2名まで		
当日参加	空きがあれば可		
参加費	無料		

<b>P-WS-03</b>		<b>乳幼児の姿勢運動発達の質的な向上のための具体的な指導を学ぶ</b>	
[リーダー]	有瀧 愉子 (ありたき小児科)		
[サブリーダー]	宇野 里砂 (武庫川女子大学教育学部)		
	天満 麻美 (かるがも藤沢クリニック)		
<p>昨年度の乳幼児の発達における重要性を理解するWS「乳幼児の姿勢運動発達の重要性を学ぶ」では、頭蓋変形、向きグセ、反りグセ、異常なハイハイなどに出会うことが多くなり、乳幼児の成長段階をただ単にマイルストーンで評価することの限界が明らかになりました。また、そのような兆候をただ見守るだけでなく早期介入の重要性に焦点を当てました。今回、早期介入の方法や養育者が実践できる具体的な手法について、乳幼児期の理想的な運動発達理論に基づいた方法を体験的に学ぶことを目標にします。さまざまな兆候の問題を識別し、それに対処する方法について実際のケースや実践的な例を通じて共有したいと思います。乳幼児の養育者への具体的な介入方法は多岐にわたります。日常診療の中で触れる親子の姿勢を評価することは早期発見と介入につながる重要なステップとなります。さらに、養育者が日常生活で行うことができる姿勢のサポートやエクササイズを通じて、乳幼児の姿勢運動発達を促進する手段についても議論できたらと考えています。議論の中で、これらの介入方法の有効性や実施可能性についても探求したいと思います。このWSを通じて、実践的な観点から乳幼児の発達支援に貢献できる新たな知識やアイデアを共有し、より健康でバランスの取れた成長環境を提供できるよう努めましょう。</p>			
開催形式	研修型	参加可能な職種 / その他の条件	
定員	30名	医師、看護師、保育士、助産師、理学療法士、言語聴覚士、作業療法士	
1施設あたりの申込制限	2名まで		
当日参加	空きがあれば可		
参加費	無料		

<b>P-WS-04</b>		<b>親と子への服薬支援 その8 “くすり”についてよろず相談します~</b>	
[リーダー]	上荷 裕広 (すずらん調剤薬局)		
[サブリーダー]	仙敷 義和 (信栄調剤薬局)		
<p>小児医療において薬物療法は大切な治療手段のひとつであり、患児と保護者そして医療者にとって“くすり”は必要不可欠なものである。過去のWSにおいては、小児が服薬を拒む事例のアセスメントやカウンセリング、服薬の動機づけなどの指導や支援の手法を学び、一昨年は原点に回帰して飲ませ方の基本の“き”を、昨年は慢性便秘治療薬マクロゴール配合製剤の服薬支援を検討した。</p> <p>毎回テーマを変えることで、さまざまな“くすり”について多方向から検討しつつ、その根底に共通しているアセスメントの重要性やカウンセリングなどの手法を参加者に理解していただけていると考える。</p> <p>今回は年次集会のテーマである「原点を求めて」に基づいて、日常診療における服薬支援や指導において、参加者が抱えている悩みや疑問など“くすり”に関することであればどのようなことでも相談できる“よろず相談”を行いたい。くすりを嫌がる患児への対応、飲ませ方についての疑問、保護者からの質問に対する適切な答え方、患児への指導方法など参加者からの疑問や質問に対して討議したい。“くすり”について、参加者による参加者のためのワークショップとして、明日からの診療に役立てていただけることを目指したい。</p>			
開催形式	問題解決型と研修型の混合型	参加可能な職種 / その他の条件	
定員	22名	制限なし	
1施設あたりの申込制限	1名まで		
当日参加	空きがあれば可		
参加費	無料		

<b>P-WS-05</b>		<b>熱性けいれん どう対応しますか？</b>	
[リーダー] 伊藤 純子 (虎の門病院) [サブリーダー] 井上 佳也 (井上こどもクリニック)			
小児診療の現場では、来院時にはけいれんが止まっている熱性けいれん患者に出会う機会が少なくありません。熱性けいれん診療ガイドライン 2023 には「来院時に熱性けいれんが止まっている場合、ルーチンに外来でジアゼパム坐剤を入れる必要はない」という要約が示されています。一方、熱性けいれん再発予防においてジアゼパム坐剤の有効性を示す報告も散見されるため、解説文には「本ガイドラインで示した要約および解説文は、外来でのジアゼパム坐剤の使用を否定するものではなく、適応は各医療機関の体制や自宅と医療機関の距離などの地域性、家族の心配などを考慮して決めるのがよいと考えられる」と記載されています。ガイドラインで画一的な対応が決められていない時、何を根拠にどのような診療をすればよいのでしょうか。ガイドラインや文献の意味を読み解きつつ、実際の診療にどう生かしていくかを考えてみたいと思います。			
開催形式	問題解決型と研修型の混合型	参加可能な職種 / その他の条件	
定員	20名	制限なし	
1施設あたりの申込制限	制限なし		
当日参加	空きがあれば可		
参加費	無料		

<b>P-WS-06</b>		<b>子どもの貧困に気づき支援するために part8</b>	
[リーダー] 和田 浩 (健和会病院小児科) [サブリーダー] 武内 一 (佛教大学社会福祉学部) 佐藤 洋一 (和歌山生協病院小児科)			
子どもの貧困に多くの医療者が心を痛めています、「医療現場で貧困は見えにくい」「気づいてもどうしたらいいかわからない」という声もあります。このワークショップは、そうした「貧困問題初心者」の方を主な対象に、「貧困を抱えた親子に気づけるようになる」「気づいた時にどうしたらいいかのヒントがつかめる」ことを目標とします。このWSに参加することで、あなたもきっと次の一歩が踏み出せると思います。 (このWSは2010年問題解決型WS「子どもの貧困を考える」として始まり、様々な経験が蓄積される中で、2016年から主に「初心者」を対象にした研修型WSとして開催しています。もちろん「初心者」以外も大歓迎です。)			
開催形式	研修型	参加可能な職種 / その他の条件	
定員	24名	制限なし	
1施設あたりの申込制限	制限なし		
当日参加	空きがあれば可		
参加費	無料		

<b>P-WS-07</b>		<b>離乳食を食べない赤ちゃん、どうしましょう？</b>	
[リーダー] 佐野 洋史 (さのすこやかクリニック) [サブリーダー] 川井田 直子 (白子クリニック) 奥村 裕紀子 (さのすこやかクリニック)			
基礎疾患がない乳児の体重増加不良は日常診療で散見されます。端的に言えばその対応は「たくさん食べて下さい」に尽きるのですが、それができないご家庭が一部あります。きっとどのクリニックでも医師が、看護師が、または栄養士がこの問題に取り組んでいるに違いありません。経験した問題を持ち寄り、情報交換をして、よりよい対応ができるようになるためのWSにしたいと考えています。			
開催形式	問題解決型と研修型の混合型	参加可能な職種 / その他の条件	
定員	30名	医師、看護師、保育士、助産師、管理栄養士	
1施設あたりの申込制限	2名まで		
当日参加	空きがあれば可		
参加費	無料		

<b>P-WS-08</b>		<b>クリニック内の急変対応、みんなどうしてる?! ~メディカルスタッフとしてできること、一緒に考えよう!~</b>	
[リーダー] 野村 さちい (一般社団法人つながるひろがる子どもの救急) [サブリーダー] 尾崎 幸代 (竜美ヶ丘小児科) 榊原 理香 (竜美ヶ丘小児科)			
子どもの急変対応について、“なんとなく不安、心配”と感じたことはありませんか。 クリニックは緊急性の高い子どもに直面する頻度は少なく、不慣れになりがちである。1分1秒を争う救命処置時もちろんであるが、急変前の予兆を見逃さず介入していくにはメディカルスタッフの役割も必要と考える。電話対応や待合室での子どもの様子の確認、保護者への対応など、未然に防ぐためにできることはあると考える。 本ワークショップではロールプレイを通して、急変前、中、後に何ができるか、どんな対応が必要かを一緒に考えていきたい。ワークショップ終了後には自施設での急変時に役立つ内容となるようにしたい。 クリニックでの子どもの急変対応「何をしたらいいかなあ?不安だなあ」、そんなメディカルスタッフの方々ぜひご参加ください。緊張せず、なんでも聞ける環境で一緒に楽しく学び考えていきましょう。			
開催形式	問題解決型	参加可能な職種 / その他の条件	
定員	24名	看護師、事務職、保育士	
1施設あたりの申込制限	制限なし		
当日参加	不可		
参加費	無料		



<b>S-WS-01</b>	<b>ウイルス性呼吸器感染症に対する漢方治療 ～急性期から慢性期の漢方治療戦略を考える～</b>	
[リーダー]	森 蘭子 (森こどもクリニック)	
[サブリーダー]	坂崎 弘美 (さかさきこどもクリニック)	
	木許 泉 (広瀬クリニック)	
<p>我々は、小児科プライマリケアにおいて漢方治療を広めることを目的としたWSを開催してきた。最初の数年は、最も問題となる服薬指導についてのWSを開催した。実際に漢方薬を用いた実習を交えて、服用性を向上させる工夫を、メディカルスタッフも含めた参加者でディスカッションした。その後、医師を対象に、処方選択に関するWSを開催してきた。毎年一つのテーマを決め、実際の診療を想定して、問診、視診、鑑別診断、処方決定、有効性の判断、効果不十分の場合の次の選択肢などについて、少人数グループでのディスカッションと、全体討議を交えて進行した。取り上げたテーマは、発達障害、アレルギー疾患、家族療法、風邪(抗菌薬適正使用)、睡眠障害、心の問題などである。今までのWSの経験やプロダクトを踏まえて、服用性を含む漢方薬に関する基礎知識及び、心の問題に対する漢方処方について、昨年(第32回)年次集会で、セミナーとして発表する機会を得た。</p> <p>コロナ禍において、西洋薬の供給不足もあり漢方治療が見直された。本年は、COVID-19を含むウイルス性呼吸器感染症に対する漢方治療をテーマとして、WSを開催したいと考えている。日常診療でみられるウイルス性呼吸器感染症の超急性期～慢性期までの諸症状や状態に漢方を使用し、症状改善及び治癒を目指す。取り上げる症状や状態は、超急性期(発熱)、急性期(鼻閉、鼻汁、咳嗽、喘鳴)、亜急性期(遷延する咳嗽や鼻汁、痰)、慢性期(慢性咳嗽、コロナ後遺症)などを想定している。参加者は医師に限定し、事前学習として、漢方治療の基本及び、上気道炎に使用する漢方薬についての基礎知識を学び確認する。当日は模擬症例を提示し、少人数のグループでのディスカッションと全体での討議を交えて進め、ウイルス性呼吸器感染症における漢方治療についての理解や、コロナ禍での経験を、今後の診療に生かすことができることを目標にしている。</p>		
開催形式	問題解決型と研修型の混合型	参加可能な職種 / その他の条件
定員	20名	医師
1施設あたりの申込制限	2名まで	漢方薬の処方経験がある医師、又は、これから処方しようとする医師(漢方薬の基礎知識についての事前学習に参加してください)
当日参加	空きがあれば可	
参加費	無料	

<b>S-WS-02</b>	<b>少子化時代の小児科クリニックについて話し合いませんか (いなか小児科WS)</b>	
[リーダー]	橋本 裕美 (橋本こどもクリニック)	
[サブリーダー]	松浦 伸郎 (松浦医院)	
	川島 崇 (川島内科クリニック)	
<p>少子化および都市中心部への人口集中により、すでに小児人口が少なくなった地域で診療しておられる小児科医も多いと思います。今はまだ過疎ではない地域においても、少子化の影響は拡大することが予想されます。今後一層深刻となる少子化問題に対して、小児科医の働き方や地域での小児科診療所の在り方は、外来小児科学会が取り組むべきテーマであると考え、今回のワークショップを企画しました。</p> <p>都会や、交通の便が良く若い世代の多い地域でないところをイメージして「いなか小児科」としました。人口密集地に比べると土地があることで、駐車場の確保がしやすく、遠方からの来院者が多い施設も多いと思います。少子化で一般診療に余裕が出来た分を在宅や育児支援、発達障害、思春期外来などに活動を多角化することや、オンラインでの患者サービスの充実などもあり得ると思います。行政との協力をより緊密に行い、地域の子どものために診療所内にとどまらず活動されている先生も居られるかもしれません。</p> <p>今回のワークショップでは事前アンケートの実施し、参加者の現状や取り組みを報告いただき、直接に話し合うことで問題点を共有し、今後の診療活動に役立つ新たな気付きを得ることを目指します。過疎が進むことで小児科医も内科医にならざるを得なくなる話を聞きますが、小児科医ならではの少しでも明るい未来を探ることを目指して一緒に考えてみませんか。</p>		
開催形式	問題解決型	参加可能な職種 / その他の条件
定員	24名	医師
1施設あたりの申込制限	制限なし	
当日参加	空きがあれば可	
参加費	無料	

<b>S-WS-03</b>	<b>マーラーのフィルムから学ぶ再接近期(いやいや期)の子ども達 ～その対応と混乱する保護者へのアドバイスを考える～</b>	
[リーダー]	松原 徹	(城東こどもクリニック)
[サブリーダー]	澤田 敬	(NPO法人カンガルーの会)
	赤平 幸子	(城東こどもクリニック)
<p>再接近期とはマーガレット・マーラーが提唱した分離固体化理論で、1歳半から2歳半頃までの時期を指します。俗に言うイヤイヤ期。不安定で攻撃性が一番強い時期です。我が儘になったり、あまえが強くなったり。親から離れて自立したいと思う反面、いざ離れてみると不安が強くなり、再び親に接近し、まとわりついてくる時期です。この頃の子ども達は親から嫌われる不安も持っています。この時期の子ども達への対応を間違えると、発達が固着し、後の人格発達に悪影響を与える可能性が高いと言われています。</p> <p>このWSでは分離固体化理論を学び、マーラーの撮影したフィルムを視聴し、そこに映された子ども達の表情や行動の裏にあるものを探って行きます。そして育児に困難を抱える親へ、どのような支援が望ましいのか参加者全員でディスカッションします。</p>		
開催形式	問題解決型と研修型の混合型	参加可能な職種 / その他の条件
定員	48名	制限なし
1施設あたりの申込制限	2名まで	
当日参加	空きがあれば可	
参加費	無料	

<b>S-WS-04</b>	<b>子どもの姿勢の崩れや歩き方、気になりますか?家庭でも、園や学校でも出来る (子どもの運動発達に基づいた)運動を実際に行ってみましょう!(理論編と実践編)</b>	
[リーダー]	千葉 智子	(上高田ちば整形外科・小児科)
[サブリーダー]	須貝 雅彦	(おひさまクリニック)
	井浦 大知	(上高田ちば整形外科・小児科)
	須貝 京子	(おひさまクリニック)
<p>子どもの体力低下が叫ばれていますが、日常的に姿勢や歩き方(走り方)が気になる、転びやすい子どもが増えています。また、コロナ禍を経て肥満児の増加もみられています。</p> <p>運動習慣の二極化もある中で、心身の健康を増進できる運動習慣をより多くの子ども達やその保護者、子どもを取り巻く専門職の大人が意識するにはどのようなことができるのかを一緒に考えていけたらと思います。</p> <p>理論編では「運動」の心身に与える影響を知り、年齢による適切な運動の選び方、日常生活における運動時間や強度の目安なども具体的に示していきたいと思います。当院では、校医をしている小学校の体育の授業の2時間をいただき、理学療法士が小学5年生に実際に体操指導を行って、スポーツテストのテスト項目での有意差を持った成績向上を確認しています。どのようなきっかけで、どのように実際に学校に導入していったのかのご紹介も含め、園や学校での活動のヒントにしていいただければと思います。</p> <p>実践編では、今回はまず、発達運動学を知っていただき、身体を上手に使うために重要な筋肉のポイントの紹介を行っていきます。その上で、(グループ学習)自身や相手の姿勢、動きを実際にチェックをし、家庭や園、学校でも出来る発達過程を考慮した運動や運動遊びを行います。</p> <p>家庭のみならず、保育園や学校でもできる運動を実際に行うことで、参加者ご自身も、自分の身体を見つめ直すいい機会になれば幸いです。</p>		
開催形式	問題解決型と研修型の混合型	参加可能な職種 / その他の条件
定員	30名	制限なし
1施設あたりの申込制限	2名まで	
当日参加	空きがあれば可	
参加費	無料	

<b>S-WS-05</b>		<b>小児科外来でのきょうだい関係における諸問題への対応</b>	
[リーダー]	荒川 明里	(中川の郷療育センター／一般社団法人 日本きょうだい福祉協会)	
[サブリーダー]	三平 元	(ひがしまつど小児科／一般社団法人 日本きょうだい福祉協会)	
	涌水 理恵	(筑波大学医学医療系発達支援看護学／一般社団法人 日本きょうだい福祉協会)	
	土田 晃	(土田こどもクリニック／一般社団法人 日本きょうだい福祉協会)	
<p>きょうだい関係は幼少期以降長く続き、直接的および間接的に影響を与えます。きょうだいは支え合う一方で、親の関心を得るための競争や嫉妬など、相反する感情を経験することもあります。年齢差、性別、家族構成、疾病や障害の有無など、きょうだいの関係性に影響を与える事情は多様です。小児科外来では、病児のきょうだい児も含め、様々なきょうだいの関係を目の当たりにする機会がしばしばあります。きょうだい育児そのものに不安や悩みを抱える保護者も多いことを診療の場面で感じることもあると思います。きょうだいである本人が子どもである場合、きょうだい自身は声を上げにくいという課題もあります。私たちは2023年4月10日(きょうだいの日)に(一社)日本きょうだい福祉協会 (<a href="https://siblingjapan.com/">https://siblingjapan.com/</a>) を設立し、あらゆる立場の「きょうだい」にとっていつでもどこでも安心して暮らせる社会の実現を目指して活動しています。本ワークショップは昨年の年次集会に引き続き開催します。ワークショップ申込者には本ワークショップ専用のメーリングリストへの登録をお願いし、メーリングリストでは参加予定者から事前にご意見を伺ったり、事前事後アンケートから参加者の意識調査を行います。当日、前半は事例を交えながらきょうだい支援の取り組みについて学び、後半は5~6名構成のグループディスカッションを行い小児科外来で私たちができるきょうだいにおける問題への対応や支援方法について参加者と共に考えたいと思います。本ワークショップは継続開催につき、アンケート結果やワークショップの内容を学会発表等で報告させていただく予定です。ご了承の上お申込みいただきますようお願いいたします。</p>			
開催形式	問題解決型と研修型の混合型		参加可能な職種 / その他の条件
定員	24名		制限なし
1施設あたりの申込制限	3名まで		
当日参加	空きがあれば可		
参加費	無料		

<b>S-WS-06</b>		<b>「他所はどうしてる？」うちではこのようにして予防接種をしています。Part2</b>	
[リーダー]	中村 豊	(ゆたかこどもクリニック)	
[サブリーダー]	牟田 広実	(いづかこども診療所)	
<p>インフルエンザの予防接種の季節になると、接種風景がテレビで流れることがあります。これを見て「え？」と思われたことはありませんか？ 予防接種は外来小児科の大事な仕事ですが、そのやり方は各施設で工夫されているものと思います。このワークショップでは予防接種の受付から帰宅までの様子を動画で撮影していただき、参加者の間で供覧して、各施設での工夫や問題点を指摘しあい、医療安全の面や効率的な接種の仕方について語り合おうというものです。昨年は接種の様子を撮影していただき話し合いました。今回は受付の仕方・接種後の観察などに範囲を広げたいと思います。</p> <p>参加施設には必ず動画撮影をお願いしています。このため、参加施設数や1施設ごとの参加者数を制限しています。ご了解ください。</p>			
開催形式	問題解決型と研修型の混合型		参加可能な職種 / その他の条件
定員	15名		医師、看護師、薬剤師、事務職 自院の予防接種の状況を撮影可能な方
1施設あたりの申込制限	3名まで		
当日参加	不可		
参加費	無料		

<b>S-WS-07</b>		<b>Baby-Led Weaning ～赤ちゃんの食べる意欲を育む離乳食の進め方～</b>	
[リーダー] 尾形 夏実 (一般社団法人 日本 BLW 協会) [サブリーダー] 森 寛子 (中村クリニック) 江田 明日香 (かるがも藤沢クリニック)			
日本には離乳食の進め方に悩む保護者が数多くいますが、従来法以外の選択肢を知らず、そのまま困難感を抱えながら、離乳食を進めている保護者は少なくありません。当ワークショップでは従来の離乳食と、Baby-Led Weaning(赤ちゃん主導の離乳)の違いや、Baby-Led Weaningが乳児の発達にどのように良い影響をもたらすかなどを、アクティビティを通じて参加者へ伝えていきます。またBaby-Led Weaningは2019年に日本でも翻訳本が出版され、SNSなどを中心に多くの保護者の関心が寄せられており、実践している保護者も増加していますが、支援する医療従事者、または施設の数に足りていないというのが現状です。そこで、このワークショップを通じて、より多くの支援者にBaby-Led Weaningを正しく知っていただき、支援を必要とする保護者へが必要とときに支援を受けられる状態を目指します。 当ワークショップでは、講義形式と「食」に関する複数のアクティビティを交互に行い、人間にとって食べるとはどういう事か、乳児にとって食べるとはどういう事か、そして離乳食の支援者としてどのように保護者へアプローチができるかをお伝えします。			
開催形式	研修型	参加可能な職種 / その他の条件	
定員	30名	医師、看護師、薬剤師、保育士、助産師、管理栄養士、言語聴覚士、作業療法士、理学療法士	
1施設あたりの申込制限	制限なし		
当日参加	空きがあれば可		
参加費	無料		

<b>S-WS-08</b>		<b>【診療部会メディカルスタッフ担当企画】集まれ!メディカルスタッフ♪ ～みんなで語ろう!メディカルスタッフの悩み事～</b>	
[リーダー] 秦 一裕 (ぼよぼよクリニック) [サブリーダー] 松田 邦彦 (ぐんぐんキッズクリニック) 藤原 亜希子 (ぼよぼよクリニック) 経種 奈保 (ぼよぼよクリニック) 高橋 美智子 (おひさまクリニック)			
日常業務のなかで、メディカルスタッフが患者様と関わる業務は多岐にわたります。例えば待ち時間に関する事、予防接種、離乳食や成長の相談。また、受付対応や診察前の問診取りなど、内容は様々です。 その関わりの中で、日々疑問に感じることや悩みなどが生まれてきます。この対応で合っているのかな?もっといい方法があるのではないかな、など考えることは尽きません。 しかし、そういった悩みを共有したり、疑問を解決するための情報を得る機会が少ないのが現状ではないでしょうか。 そこで、全国のメディカルスタッフが参加することのできる、この日本外来小児科学会年次集会にて、「メディカルスタッフのためのワークショップ」を開催します! <b>【診療部会メディカルスタッフ担当企画】</b> <b>集まれ!メディカルスタッフ♪</b> <b>～みんなで語ろう!メディカルスタッフの悩み事～</b> 私達が日々感じている悩みや疑問を他施設の方と話し合うことで、新たな気づきや改善点の糸口を見つけてみませんか? そして、今後もいろいろなテーマで、自分の話を聴いて、共感してもらえる場となるワークショップを目指します。 参加者全員でこのワークショップを育てていきましょう!			
開催形式	問題解決型	参加可能な職種 / その他の条件	
定員	30名	看護師、事務職、保育士、助産師、管理栄養士	
1施設あたりの申込制限	3名まで		
当日参加	空きがあれば可		
参加費	無料		

## 8. 特別企画

9月7日(土) 16:30～17:30  
第1会場(大ホール - 高山市民文化会館)

### 【会頭特別企画】

こども達と未来社会の構築に向けて

座長：矢嶋 茂裕 (矢嶋小児科小児循環器クリニック)  
演者：自見 はなこ (医師・参議院議員)

9月7日(土) 9:00～11:00  
第4会場(3-11 講堂 - 高山市民文化会館)

### 【会頭企画】

患者さんから学ぶ

座長：矢嶋 茂裕 (矢嶋小児科小児循環器クリニック)  
奥村 紀子 (おくむらこどもクリニック)

はしかは罹ると怖いんだ、だからワクチンが大切なんだよ。  
～この気持ちをママ・パパに伝えたい～

演者：辻 洋子・辻 海人 (SSPE 青空の会)

風しんを流行らせてはいけない理由、そして願い

演者：可児 佳代 (風疹をなくそうの会『hand in hand』)

ALD患者と家族の幸せにつながる新生児スクリーニングの実現に向けて

演者：本間 りえ (認定NPO法人ALDの未来を考える会)

毎年、患者会のブースが出ていますが、それぞれの経験、病気に対する思いを学会として聞く場がありませんでした。今回は会頭の強い思いを込めて、先天性風疹症候群、麻疹の後遺症の亜急性硬化性全脳炎 (SSPE) というワクチンで予防できる疾患と、副腎白質ジストロフィー (ALD) という先天性代謝異常症についてお話させていただきます。当事者の声は皆さんの心に強く響くことでしょう。そしてこの企画が今後も継続して開催されることを強く願っています。

(推薦者：矢嶋 茂裕)

## 9. 各種講演

9月7日（土）14:10～14:40

第1会場（大ホール - 高山市民文化会館）

### 【会頭講演】

外来小児科学会の原点を求めて～五十嵐正紘先生の軌跡～

座長：宮崎 雅仁（小児科内科 三好医院）

演者：矢嶋 茂裕（矢嶋小児科小児循環器クリニック）

9月7日（土）15:00～16:00

第1会場（大ホール - 高山市民文化会館）

### 【特別講演 1】

子どもの強みを伸ばし、家族に寄り添う  
～飛騨市における発達支援・障がい児支援の実践～

座長：稲光 毅（いなみつこどもクリニック）

演者：都竹 淳也（飛騨市長）

その男は、「おもしろい」が口癖である。

その男は、「すばらしい」も口癖である。

その男は、PDCA サイクルを信じない。

その男は、心豊かで温かく誰をも魅了する市長である。

その男は、勇猛で、機知に富み、忍耐のある市長である。

その男は、国レベルの仕事が山のように舞い込むが、全てに全力で向かい合う。

その男は、岐阜県政始まって以来初めて、2代の知事に仕えた元知事秘書である。

その男は、障がい児者と家族の幸せを願い、それを施策に昇華させることができる。

その男は、医療的ケア児者を応援する市区町村長ネットワークの発案者であり会長である。

その男は、国務長官でもある。

その男は、障がい者の父でもある。

その男が、飛騨市長 都竹淳也である。

（推薦者：寺澤 大祐）

## 【特別講演 2】

### 少子化対策と外来小児科～発達障害の視点から～

座長：蜂谷 明子（蜂谷医院）

演者：神山 忠（NPO 法人バリアフリー読書支援センター）

「たいことばち」を用意する授業って何でしょう。小中学生時代から読字障害に苦しみ、子どもたちに同じ思いをさせたくない教師を目指した神山先生は、今でも文章を読むことが苦手だそうです。頭の中ではわかっているつもりの発達障害も、当事者の声は迫るものがあります。ハンカチをたくさん用意してご参加ください。

（推薦者：矢嶋 茂裕）

---

9月7日（土）15:00～16:00  
第2会場（小ホール - 高山市民文化会館）

## 【教育講演 1（小児科領域講習）】

### 歩きが変わる！子どもが変わる！靴のチェックポイント

座長：落合 仁（落合小児科医院）

演者：塩之谷 香（塩之谷整形外科）

以前塩之谷先生の講演を拝聴し、目からウロコでした！

僕は、自分の子どもが小さい時に、もっと早く聞きたかった、、、とその時思いました。

こどもの足と靴に関して、大変分かりやすくなる＆明日から役に立つ、お話を聞けると思います。

医師・看護師・保育士・事務員等全ての職種＆パパ・ママ・じじ・ばばに絶対オススメです！

（推薦者：日高 啓量）

## 【教育講演2】

### Phaseで見極める！ホンネ!? & ホント!?!の小児中耳炎の診かた&治しかた

座長：八木 信一（八木小児科医院）

演者：永田 理希（ながたクリニック）

耳鼻咽喉科でありながら、こどもから高齢者の内科疾患から外科疾患まで幅広く対応する石川県加賀市山代温泉在住のジェネラリスト。感染症黎明期から、地域、職種、病院規模、経験年数などに関係なく、誰もが感染症の難しいことをわかりやすく楽しく学べる「感染症倶楽部」を立ち上げ、医療機関だけでなくSNSを利用するなど、感染症への学びを拡大し続けている。

私たち小児科医が外来でこどもを診る上で、如何に薬剤耐性に取り組むかは極めて大きな課題の一つである。この課題に取り組むため、感染症に関する充実した知識をもとに実際に薬剤耐性への取り組みをクリニックで実践している第一人者からの学びが最適であろう。それが永田理希先生あり、薬剤耐性についての取り組みを本学会で学ぶのであれば、これ以上に最適な人物はいない。今回の教育講演の終了時には、充実した学びを得た聴講者の満面の笑みで会場がいっぱいになっているに違いない。

(推薦者：手塚 宜行)

---

9月8日(日) 9:00～10:00  
AMR サテライト会場(講堂-高山赤十字病院)

## 【教育講演3(専門医共通講習：感染対策)】

### 地域で始める AMR 対策

#### ～なぜ、カゼに抗菌薬は必要ないのか？～

座長：古野 憲司（日本赤十字社 福岡赤十字病院 小児科）

演者：手塚 宜行（岐阜大学医学系研究科感染症寄附講座）

手塚先生は岐阜で小児科医となり、小児感染症を極めようと岐阜から飛び立ちました。それだけでは満足せず、成人領域の感染症や感染制御の研鑽も積み、貴重な子どもの診療にも強い感染症スペシャリストとされました。手塚先生の活躍は各方面から評価され、40歳になる前に教授にご就任し岐阜に戻りました。昔から常に子どもの目線に立った診療が染みついている先生ですので、遵守や制限、隔離といった言葉で縛りつけるようなことでなく、子どもやその保護者、共に働く医療従事者の各目線で考えた現実的かつ効率的な感染対策および感染症診療のお話が聞けることと思います。

(推薦者：松波 邦洋)



# 10. シンポジウム

9月7日(土) 9:00～11:00  
第2会場(小ホール-高山市民文化会館)

## 【シンポジウム 1-1】

スムーズな診療科連携を目指して本音で語る①  
～皆さんの素朴な疑問に本音で答えます～

座長：中村 陽一(たいようこどもクリニック)  
松波 邦洋(岐阜県総合医療センター 小児救急科)

### 脳神経外科のホンネ

演者：植松 幸大(岐阜県総合医療センター 脳神経外科)

各病院で頭の形外来が開設され、頭蓋形状矯正ヘルメット治療の情報が広く浸透してくることで、乳幼児健診での質問が多くなりました。子どもの頭の形を気にする保護者に対して、どう答えるのが望ましいでしょうか？腰仙部 dimple に関するもいまだに悩むケースが少なくありません。小児専門施設で働く脳神経外科医として研鑽を積まれたのちに、小児だけではなく脳神経外科の幅広い領域で活躍されている植松先生は、我々小児科医が悩む素朴な疑問に対して真摯に答えてくれます。まだ正解が分からないところに関するも脳神経外科医の中での議論も踏まえて、どこにも忖度のない情報を発信していただきます。

### 小児外科のホンネ

演者：加藤 充純(岐阜大学医学部附属病院 消化器外科・小児外科)

9月8日(学術集会2日目)に子どもの外科手術体験もお願いしている加藤先生は、小児科医や病気の子を持つ親からだけでなく、子どもたちからも話しかけやすく相談しやすい小児外科医です。小児外科医として様々な臓器の手術に精通していることはもちろん、低侵襲であることや手術を受ける子どもの将来にとってよりよいことを常に意識され、手術のタイミングや術式などを考えておられます。肥厚性幽門狭窄症、鼠径ヘルニア、虫垂炎など小児科との連携頻度が高い疾患を中心に、我々が抱く素朴な疑問を解決していただきます。

### 泌尿器科のホンネ

演者：久松 英治(あいち小児保健医療総合センター 泌尿器科)

久松先生は近隣のクリニックや病院からだけでなく、他県の小児科医、小児腎臓科医からも信頼され、多くの症例の紹介を受けていただいている子どもの診療に強い泌尿器科医です。小児泌尿器科の専門医資格をお持ちなのは当然なのですが、プレゼンテーション検定準2級、Microsoft Office Specialistの資格をお持ちであり、久松先生のプレゼンに魅了されることは間違いありません。包茎の対処や精巣捻転などの緊急疾患も含め、我々の疑問点を解決してくださるプレゼンに酔いしれましょう。

(推薦者：松波 邦洋)

## 【シンポジウム 1-2】

### スムーズな診療科連携を目指して本音で語る② ～皆さんの素朴な疑問に本音で答えます～

座長：中村 陽一（たいようこどもクリニック）  
松波 邦洋（岐阜県総合医療センター 小児救急科）

#### 眼科のホンネ

演者：横山 吉美（中京病院 眼科）

横山先生は自施設だけではなく、他県の医療機関にまで出張され手術をこなす小児領域に強い眼科の先生です。小児眼科領域のベテラン医師からも若手医師からも信頼されており、このシンポジウムの趣旨を眼科の先生にお伝えすると、口をそろえて真っ先に横山先生の名前が挙がるほど話しやすい先生です。スポットビジョンスクリーナーの普及により、早期に乳幼児の屈折異常が検知できるようになり、眼科との連携の機会が増えました。これまでより早期に検出された屈折異常の児がどのような経過をたどっているのか、先天性白内障や乳児内斜視など早期に治療が必要な疾患、鼻涙管閉塞などの日常にありふれた疾患等これらの疑問について解決していただきます。

#### 形成外科のホンネ

演者：森川 脩介（市立伊勢総合病院 形成外科）

身近に相談しやすい形成外科の先生がいると、乳幼児健診の際に保護者から聞かれる血管腫や母斑、口唇口蓋裂、先天性耳介形成異常、皮下皮膚腫瘍、手足の先天奇形に対しての質問に対して、我々小児科医も自信をもって答えられるようになります。森川先生はまさにその代表的な形成外科の先生です。レーザー治療や手術による根本的な解決で保護者を安心させるだけではなく、物腰柔らかく丁寧な説明で適切な治療時期を探っている経過観察中のお子さんの保護者の気持ちも穏やかにさせていただきます。形成外科で取り扱う疾患全般に関わる素朴な疑問について解決していただき、形成外科の先生につなぐタイミングやつなぐ際の保護者への声かけについて教えていただきます。

#### 救急科のホンネ

演者：松波 邦洋（岐阜県総合医療センター 小児救急科）

小児科、救急科のダブルボードで活躍している先生です。誤嚥・誤飲を目撃したもしくは誤嚥・誤飲が疑われるという主訴で受診する症例、中毒が疑われる症例など、どこまでは経過観察でいいか、どういう症例は紹介したほうがいいのか悩むことは少なくありません。子どもの診療に強い救急医としての視点で、松波先生はその悩みを解決してくれます。実際の症例の画像、2次3次医療機関で実施される処置、日常診療における注意事項、現実には効果の高い誤嚥・誤飲予防策などについても語っていただきます。

(推薦者：松波 邦洋)

## 【シンポジウム2】

### ドクター小枝企画プロデュース～エキスパートから学ぶ神経発達症の臨床

座長：小枝 達也 (鳥取県立総合療育センター)  
蜂谷 明子 (蜂谷医院)  
演者：林 隆 (西川医院 発達診療部)  
高木 一江 (社会福祉法人青い鳥横浜市中部地域療育センター)  
小枝 達也 (鳥取県立総合療育センター)  
永光 信一郎 (福岡大学医学部小児科)

この度、発達障害系のシンポジウムを、地元岐阜県出身である前国立成育医療センター副院長の小枝達也先生に、企画からシンポジストの招聘依頼、内容の組み立てまですべてプロデュースしていただきました。

お蔭様で、LDの第一人者でいらっしゃる小枝先生をはじめ、神経発達症(発達障害)のそれぞれの分野の第一人者が高山に集結いたします。

更に内容は医師向けだけでなく、どこの小児科機関にも受診する神経発達症のお子さんに接するすべてのメディカルスタッフの方々対象です。これこそが日本外来小児科学会ならではの神経発達症のシンポジウムです。以下、各シンポジストのコメントです。

- ・ADHDの診断と治療の実際(林隆先生)：ADHDの治療は症状や困り感の背景にある生き難さを明らかにして、困り感の軽減を目的に環境を調節することになります。薬物療法は内部環境の調整です。ADHD治療薬の特徴とADHDの困り感をもとにその使い分けを提案したいと思います。
- ・幼児期におけるASDの診断と治療の実際(高木一江先生)：ASDは乳幼児期から非定型的発達を示します。早期発見、療育(治療教育)することの大切さをお話しします。
- ・学習障害の診断と治療の実際(小枝達也先生)：学習障害の中核である特異的読字障害の診断と治療として実施しているT式ひらがな音読支援を紹介します。
- ・神経発達症が背景にある心身症の診断と治療の実際(永光信一郎先生)：不登校、不定愁訴で受診する子ども達の中に、神経発達症の子がいる。治療のアプローチについて紹介します。

(推薦者：蜂谷 明子)

# 11. 拡大ワークショップ

9月7日(土) 9:00～11:30  
第6会場(瑞祥-高山グリーンホテル)

## 【拡大ワークショップ1】

明日から使えるカウンセリング！  
～カウンセリングによるコミュニケーションスキルの向上～

座長：上荷 裕広 (すずらん調剤薬局)  
岡本 まゆ美 (つつじが丘こどもクリニック)

小児科外来の医療従事者として患者さん親子との関わりはもちろん大切ですが、社会や家庭におけるさまざまな場面でコミュニケーションスキルは大切な能力です。これは持って生まれたものだけではなく、さまざまな経験を通して獲得されます。そこで当セミナーでは、カウンセリングを学ぶことからコミュニケーションスキルを向上し、より患者さんに寄り添った対応ができるようになることを目指します。講義だけではなく、体験も取り入れながら楽しく学んでいただけます。コミュニケーションが苦手という方もそうでない方も、知れば変わるカウンセリングスキルをぜひ！ご参加お待ちしております。

(推薦者：上荷 裕広〔薬剤師〕)

申し込み期間：2024年4月24日(水) 12:00～7月31日(水)

募集人数：40名(事前申し込み)

当日参加：残席あれば可(椅子のみ)

参加費：無料

募集対象：メディカルスタッフ

## 【拡大ワークショップ2】

小児診療初期対応 (JPLS) を知って繋いで日々の診療をパワーアップ!  
～小児外来診療は子どもの命の輪を繋げる最初の鎖～

座長：鈴木 研史 (竜美ヶ丘小児科)

JPLS とは?、初期対応の重要性

演者：種市 尋宙 (富山大学小児科)

小児評価 (第一印象・一次評価) とは?

演者：加久 翔太郎 (clinic WIZ のぼりと・ゆうえん小児科)

小児看護の視点から

演者：野村 さちい (一般社団法人つながるひろがる子どもの救急)

活用は院内外で (小児科診療所の視点から)

演者：鈴木 研史 (竜美ヶ丘小児科)

シミュレーションと胸骨圧迫・誤飲対応実技体験

演者：長屋 聡一郎 (岐阜大学附属病院)

小児科診療所の診療は、多くの軽症の児をみながら、重症度や緊急性の高い児を見逃さず、少しでも早くたどり着く必要があります。さらに、アナフィラキシーショックや呼吸不全、稀な心筋症や心肺蘇生にも対応する必要があります。JPLS は蘇生技術のみではなく初期評価と対応を中心とした日常の診療に活用できる私たちにうってつけのコースです。参加した多くの先生が「参加してよかった」「日常の診療の振り返りができた」と、アンケートで仰っています。私も感動して講師さらに委員にまでなりました。初期診療の重要性を知ってコースを少し体験していただく内容です。本コースには参加できない看護師も参加できます。この機会に一緒に勉強しましょう。

(推薦者：鈴木 研史)

### ■シミュレーションと胸骨圧迫・誤飲対応実技体験 事前募集

申し込み期間：2024年4月24日(水) 12:00～6月20日(木)

募集人数：24名(前半の聴講を含む)

当日参加：可(見学のみ)

参加費：無料

募集対象：医師・看護師

## 12. ハンズオンセミナー

9月7日(土) 9:00～11:30  
第3会場(2-5会議室 - 高山市民文化会館)

### 【ハンズオンセミナー 1】

#### 発達検査 特に WISC- V を読み解くために

座長：蜂谷 明子（蜂谷医院）

演者：大六 一志（筑波大学元教授）

神経発達症の専門外来だけでなく、日常の小児科診療の中でも発達神経症の子ども達と接する機会は年々多くなっていると感じます。

さらに、発達神経症と身体症状の合併は多く、小児科診療や学校医としての活動現場などで、相談を受ける機会は避けられません。そのような場面で WISC などの検査結果資料を含めた相談も多いかと思えます。

今回、WISC- IV から移行になって来た WISC- V の検査を学ぶハンズオンセミナーを企画いたしました。講師は、長年 WISC 検査日本版の作成に携わっていらっしゃる筑波大学元教授の大六一志先生にお願いしました。作成者ならではのお話が盛りだくさんです。

WISC- V の結果解釈及び指導・支援の方法などを学びたいと考えています。

(推薦者：蜂谷 明子)

申し込み期間：2024年4月24日(水)～7月31日(水)

募集人数：50名

当日参加：残席あれば可

参加費：1,500円(WISC- V 検査用紙代を含む) ※当日お支払いください

募集対象：制限なし

当日持ち物：筆記用具

## 【ハンズオンセミナー2】

湿潤療法～ほんの少しの勇気を持ってください！さあ始めよう湿潤療法！！～

リーダー：八木 和郎(小児科八木医院)

子どもたちに熱傷やケガはつきものです。

そんな子どもが受診した時、皮膚科や形成外科に紹介していませんか？

痛くなく、早くきれいに治る湿潤療法のテクニックがあれば、紹介することなく自院で治療でき、きっと先生やスタッフはとても感謝されると思います。

ちょっとしたコツと適切な被覆剤さえあれば、湿潤療法はできます。

それを知っているか知らないかの差は大きいのです。

ぜひ、初めての方も2回目以上の方も、高山での湿潤療法ハンズオンセミナーに参加して、子どもたちの熱傷やケガをきれいに治せるコツを学んでください。

(推薦者：和田 映子)

申し込み期間：2024年4月24日(水)～7月31日(水)

募集人数：36名

当日参加：残席あれば可

参加費：無料

募集対象：医師のみ

---

9月8日(日) 9:00～11:30  
第6会場(瑞祥-高山グリーンホテル)

## 【ハンズオンセミナー3】

脱マスク、子どもたちに笑顔を届けよう～みんなに好かれる好印象メイク術～  
メイク講演+ハンドマッサージ体験

座長：赤尾 智子(矢嶋小児科小児循環器クリニック)

演者：中岡 弘喜(株式会社ポーラ)

マスクを外す機会が増えた今、メディカルスタッフ向けにおすすめのメイクセミナーを開催します。主催者側の意向を快く汲んで下さったのはあの化粧品ブランドPOLAです。

親近感を感じられるよう、20～30歳代と40～50歳代のモデルをこちらで準備しました。

年代別にメイクの実演をしていただきます。メイクにおける質問もお受けします。

また、後半にはハンドマッサージの体験があります。POLAの美しさへの探究の歴史が垣間見えることでしょう。

プロの技を通して“うるつや”になって子どもたちに素敵な笑顔を届けませんか。

(推薦者：赤尾 智子〔看護師〕)

申し込み期間：2024年4月24日(水)～7月31日(水)

募集人数：事前申込60名〔聴講+体験〕

当日参加：可〔聴講+見学のみ〕

参加費：無料

募集対象：体験は女性のみ(職種制限なし)

※当日参加(聴講・見学)はどなたでも可

## 【ハンズオンセミナー4】

### 食物アレルギー 岐阜県産米粉で Let's enjoy Cooking ～卵・乳・小麦除去食を体験しませんか～

リーダー：徳田 玲子(徳田ファミリークリニック 小児科・アレルギー科)

岐阜県産玄米粉：うるち米(岐阜県産ハツシモ)を使ったパスタを食べ比べしていただいたり、岐阜県産の食材を楽しんでいただこうと企画しています。

小児アレルギー専門医やアレルギー科で働くスタッフと皆さんで楽しくランチ作りしましょう。また食物アレルギーを語り合いたいと思っています。

(推薦者：徳田 玲子)

申し込み期間：2024年4月24日(水)～7月31日(水)

募集人数：24名

当日参加：残席あれば可

参加費：1,000円(現地払い)

募集対象：制限なし

当日持ち物：なし(エプロン等、年次集会で準備いたします)



## 13. 委員会企画

9月7日(土) 9:00～11:30  
第1会場(大ホール-高山市民文化会館)

### 【委員会企画1】

#### 授乳と補完食(離乳食)を科学的に支援しよう!

座長：谷村 聡 (たにむら小児科)  
井上 佳也 (井上こどもクリニック)  
演者：瀬尾 智子 (緑の森こどもクリニック)  
江田 明日香 (かるがも藤沢クリニック)  
早田 茉莉 (川口市立医療センター 新生児集中治療科)  
西村 龍夫 (にしむら小児科)  
古川 隆子 (とみもと小児科クリニック)

子どもの成長発達を保証するためにも、育児支援の観点からも、授乳と補完食(離乳食)の支援は重要です。巷にあふれる情報には不適切なものも多く、小児科医やメディカルスタッフは子どもの健康に関わる専門職として、科学的根拠のある情報を提供する必要があります。今回は、2023年に発表されたWHOの新しい補完食のガイドラインを紹介します。また、日本の現状を知った上で支援できるように、授乳と補完食に対する養育者の意識に関する実際調査、保健所や保健センターにおける指導のアンケート調査の結果を発表する予定です。医師だけでなく子どもの健康に関わる全てのスタッフに聞いていただきたいシンポジウムです。

(推薦者：瀬尾 智子)

## 【委員会企画2】

### 生涯学習委員会

座長：長井 健祐 (長井小児科医院)

e-ラーニング外来小児科 Q&A に関するアンケート結果報告

演者：長井 健祐 (長井小児科医院)

あなたも作れる！効果的、効率的、魅力的な独学教材

～e-ラーニング外来小児科 Q&A の問題作成過程、お目にかけます～

演者：奥 典宏 (十日市場こどもクリニック)

---

9月7日(土) 16:20～17:20  
第3会場(2-5会議室 - 高山市民文化会館)

## 【委員会企画3 (専門医共通講習：医療倫理)】

### 倫理審査委員会・倫理講習会

座長：稲光 毅 (いなみつこどもクリニック)

演者：板井 孝壺郎 (宮崎大学医学部社会医学講座生命・医療倫理学分野)

---

9月7日(土) 15:00～17:30  
第4会場(3-11講堂 - 高山市民文化会館)

## 【委員会企画4】

### 園学校保健委員会

# 14. 日本小児科学会 小児診療初期対応 (Japan Pediatric Life Support : JPLS) コース

9月7日(土) 9:00～17:00

JPLS サテライト会場 (4F 展示場 - 飛騨地域地場産業振興センター)

主催：日本小児科学会

## 小児診療初期対応 (JPLS) コース

小児科専門医 (新制度) 更新単位 iii) 小児科領域：3 単位 (事前・事後を含む全過程修了必須)

小児診療初期対応 (JPLS) コースは、「防ぎうる心停止から子どもたちを守る」ことを目的として、日常診療での危険の認知と早期対応を実践形式で学ぶ、日本小児科学会の研修コースです。当日の設定は、私たちの日常の夜間急病診療所や小児科外来で、日常から突然遭遇する重篤小児まで、明日から使える内容となっています。(2 日目午前のこのコースに関連する拡大ワークショップは、日本小児科学会会員以外の医師や看護師も参加できます。)

詳細と申込みは、下記の日本小児科学会 Web サイトをご覧ください。

[https://www.jpeds.or.jp/modules/activity/index.php?content\\_id=221](https://www.jpeds.or.jp/modules/activity/index.php?content_id=221)



申し込み期間：2024 年 5 月初旬～6 月 7 日 (金)

募集人数：12 名

当日参加：不可

参加費：20,000 円 (教材・昼食代込)

募集対象：日本小児科学会会員の小児科医 (経験年数や勤務施設は問いません)

※ JPLS コースのみ参加の方は、第 33 回日本外来小児科学会年次集会の参加登録は不要です。

# 15. 小児 AMR 対策セミナー

9月8日(日) 9:00～10:00/10:15～11:30/13:20～14:50

AMR サテライト会場(講堂 - 高山赤十字病院)

共催：第33回日本外来小児科学会年次集会

AMR 臨床リファレンスセンター

高山赤十字病院

## 第7回小児 AMR 対策セミナー

ワークショップは要事前申込(専門医共通講習：感染対策を含む午前中の内容は申込不要)

スケジュール(9:00～14:50、但し11:30～13:20は昼休憩)

9:00～10:00 **地域で始める AMR 対策～なぜ、カゼに抗菌薬は必要ないのか？～**

座長：古野 憲司(日本赤十字社 福岡赤十字病院 小児科)

講師：手塚 直行(岐阜大学大学院医学系研究科 感染症寄附講座)

\*専門医共通講習：感染対策

10:15～11:30 **地域で実施されている AMR 対策に関する事例紹介**

13:20～14:50 **ワークショップ**(事前申込制)

リーダー：大竹 正悟(神戸大学大学院医学研究科内科学系講座小児科学分野)

サブリーダー：磯部 裕介(東京都立小児総合医療センター)

薬剤耐性(Antimicrobial resistance: AMR)菌の拡大は世界的な問題であり、抗菌薬適正使用をはじめとした AMR 対策は喫緊の課題である。これまで小児 AMR 対策セミナーは日本外来小児科学会、AMR 臨床リファレンスセンター、日本小児感染症学会に共催頂きながら 2018 年の第 1 回から合計 6 回開催した。第 1、2 回の開催では、小児科医を対象とした講義とワークショップを行い、第 3、4 回は医師だけでなく看護師や薬剤師などの多職種を対象に講義と様々な職種における取組みの事例紹介をオンラインで実施し、その内容に基づいたワークショップを行った。それまでの開催で、本邦の抗菌薬処方量の 9 割を占める経口抗菌薬の適正化は、小児科だけでなく他の診療科、看護師、薬剤師(地域薬局)、市民、行政を巻き込んだ、地域一丸となった取組みが重要であるという結論に至った。第 5、6 回は再び日本外来小児科学会年次集会における現地開催でセミナーを実施した。上記の結論に基づき、耳鼻咽喉科と連携して取り組んだ抗菌薬適正使用、地域薬局での患者教育やデータベースの活用、行政と連携して取り組んだ乳幼児健診を現場とした市民教育、次世代を担う子どもたちへの“遊び”を通じた教育などの事例を共有し、具体的な取組みの方法論についてディスカッションした。

第 7 回は「地域から波及する AMR 対策～原点から次の世代へ～」というテーマの下、岐阜大学の手塚直行先生によるご講演、様々な地域で取り組まれている先行事例の紹介と小グループに別れたディスカッションを計画している。いずれも小児科医師に限らず地域の医療従事者や学生にも強く関心を持っていただける内容を目指している。講義や事例紹介を通じて地域一丸で取り組める AMR 対策の具体案を考えるとともに、次世代を担う学生や子どもたちにどのようにアプローチするかについても議論できるセミナーにしたい。

申し込み期間：2024 年 4 月中旬～8 月中旬

募集人数：30～40 名

当日参加：要相談

参加費：無料

募集対象：看護師、薬剤師、医療事務、医師、その他子どもたちに関わる職種の方々、学生。

※小児 AMR 対策セミナーのみ参加の方は、第 33 回日本外来小児科学会年次集会の参加登録は不要です。

# 16. 一般演題 募集要項

9月7日(土) 9:00～11:30  
第5会場(瑞祥-高山グリーンホテル)

**演題募集期間**：2024年4月15日(月)～5月17日(金)

**発表動画投稿期間**：2024年8月1日(木)～8月20日(火)

**発表動画公開期間**：2024年8月26日(月)～10月31日(木)

※チャットを利用した質疑応答を8月26日(月)～9月6日(金)の間に行います。

**現地口頭発表**：2024年9月7日(土) 9:00～11:30(希望者のみ 演題数に制限あり)

**ポスター掲示**：2024年9月7日(土) 9:00～9月8日(日) 14:30(希望者のみ)

日常診療における取組や現在進行形の研究に関する演題など、広く募集します。  
事前提出の動画を年次集会参加者限定の特設サイトで配信する事で発表とさせていただきます。口頭発表の日時と他演目が重なる場合でも、奮ってご応募ください。動画配信に加えて、会場での口頭発表、ポスター掲示を希望される場合は応募時にお知らせください。ただし、口頭発表の枠には演題数の制限があります。発表いただいた一般演題の中から優秀演題が選出され「さるぼぼ賞」が授与されます。会頭・実行委員で構成する選考委員会で審査し閉会式で発表します。

## 応募資格

演者または共同演者のうち少なくとも1名は、日本外来小児科学会の会員である必要があり、演者は会員または会員が所属する施設のスタッフに限ります。

## 募集要項

※詳細は年次集会ホームページでご確認ください。

登録可能な演者数・所属施設：20名以内(筆頭演者含む) 10施設以内

演題名：全角50文字以内 抄録本文：全角800文字以内

※現地口頭発表、ポスター掲示のご希望をお知らせください。

## 採否決定・通知

募集締切後、実行委員会による査読を経て、採否の決定を6月末に通知します。

会場発表の可否含め、採否通知でご確認ください。

## 発表形式

### ・発表動画のオンデマンド配信(全演者必須)

発表動画(6分)を事前に投稿してください。

チャット機能を利用した質疑応答を行います。

発表動画は、年次集会に参加登録した方への限定公開となります。

### ・現地会場における口頭発表

発表6分 質疑応答3分

発表用スライドはパワーポイントを利用して作成して、当日持参してください。

共同演者による代理発表、質疑応答も認めます。

登壇いただいて動画を流すことも可能ですが、動画データを当日持参してください。

### ・ポスター掲示

指定の時間内で掲示をしてください。セッションタイムは設けません。

# 17. クリニック自慢大会 募集要項

9月7日（土）15:00～17:30  
第5会場（瑞祥 - 高山グリーンホテル）

演題募集期間：2024年4月15日（月）～5月17日（金）  
発表動画投稿期間：2024年8月1日（木）～8月20日（火）  
現地口頭発表：2024年9月7日（土）15:00～17:30

## 「伝えたい・聞いてほしいクリニックでのあんなこと・こんなこと ～笑顔のレシピから裏側まで～」

座長：井村 美穂（ひだかこどもクリニック）  
副島 小波（ひだかこどもクリニック）  
演者：公募発表者

「せっかくの日本全国のクリニックスタッフが集まるこの機会に、普段聞くことが出来ない他施設でのあんなこと・こんなことを聞いてみたい」そんな思いから生まれた企画です。

各施設での工夫、自慢、こんな嬉しいことがあったというエピソードから福利厚生などの裏側の話、つらいこと、悩み、SNSで困ったことまで、聞いてみたいこと、聞いてほしいことを皆さんから気軽に発信していただく場にしたいと思っています。

1人では不安という方は、グループで発表していただいても構いません。また、当日、他のWSなどに参加されるため都合がつかない場合は、動画のみの発表でも大丈夫です。

1組5分以内で、各施設の工夫、自慢などいろんな話を聞かせてください。なお、記録に残さない発表なので、気軽にリアルな思いを発信していただければと思っています。

### 応募資格

演者は会員または会員が所属する施設のスタッフに限ります。

### 募集要項

※詳細は年次集会ホームページでご確認ください。

年次集会公式ウェブサイトからオンラインで応募してください。

演題応募時に、100文字程度の発表内容も登録してください。

（発表内容として登録いただいたものを抄録集に掲載させていただきます。）

### 採否決定・通知

応募者多数の場合など、全ての方の発表が難しい場合もございます。

募集締切後、実行委員会による査読を経て、採否の決定を6月末に通知します。

### 発表形式

・ステージでの口頭発表、または、動画のみの発表です。

1組5分以内、スライド・写真は3～10枚程度（目安）

当日、ステージで口頭発表いただける場合は、発表時間とは別に質疑応答（5分以内）の時間も準備させていただきます。

※動画は会場放映に限定し、オンデマンド配信は行いません。

## 18. 認定単位一覧

### ●日本小児科学会

- ・年次集会参加による専門医制度（新制度）更新単位  
「iv）学術業績・診療以外の活動実績 B」 1 単位

※現地参加の場合のみ付与されます。

- ・専門医講習会 \*申請中

#### iii) 小児科領域講習

開催日	時間	会場	セッション名	演題名
9/7 (土)	15:00 ~ 16:00	第2会場 (高山市民文化会館)	教育講演 1	歩きが変わる！子どもが変わる！靴のチェックポイント

#### ii) 専門医共通講習

開催日	時間	会場	セッション名	演題名
9/7 (土)	16:20~17:20	第3会場 (高山市民文化会館)	委員会企画 3	倫理審査委員会・倫理講習会
9/8 (日)	9:00~10:00	AMR サテライト会場 (高山赤十字病院 講堂)	教育講演 3	地域で始める AMR 対策～なぜ、カゼに抗菌薬は必要ないのか～

### ●日本小児科医会

- ・地域総合小児医療認定医制度 10 単位

- ・「子どもの心」相談医認定単位 本年次集会全体で4点まで認められます（現地参加のみ）

開催日	時間	会場	セッション名	演題名	点数
9/8(日)	9:00~11:30	第1会場 (高山市民文化会館)	シンポジウム 2	ドクター小枝企画プロデュース～エキスパートから学ぶ神経発達症の臨床	4 点

### ●日本小児神経学会

- ・小児神経専門医制度認定研修会 2 単位

### ●日本薬剤師研修センター

- ・研修認定単位

9月7日(土) 4 単位

9月8日(日) 2 単位

※現地参加の場合のみ付与されます

- ・小児薬物療法認定薬剤師 更新単位（その他の研修）

※現地参加の場合のみ付与されます

単位の取得方法については年次集会ホームページにてご案内します。

## 19. その他企画

9月8日（日）6:30 高山市民文化会館駐車場集合

### 『ドクター&ランナー岡空企画、早朝ジョギング』 ～初秋の飛騨路を駆け抜けよう～

マラソンランナーとして有名なドクター岡空（鳥取県）が高山の名所を巡る約7kmのコースを企画しました。途中、高山陣屋前で小休止して記念撮影する予定です。日曜日の朝、爽やかな風を受けて御一緒にジョギングしませんか？

※事前申し込み不要。途中退場も可能です。

---

9月8日（日）6:30 高山市民文化会館駐車場集合  
ジョギングランナーを見送ってからスタート

### 高山名物朝市散歩

地元出身のメンバーがご案内します。お漬物やフルーツ、さるぼぼや木彫りなどの飛騨の民芸品、美味しいスイーツやカフェ、自由に楽しめます。朝市テントのおじさん、おばさんとの楽しいトークも一興です。

ジョギングランナーを見送ってから出発します。



9月7日(土) 13:00～17:00

9月8日(日) 9:30～11:30

休憩会場(2-6 展示室 - 高山市民文化会館)

## 【折り紙コーナー】

折り紙しませんか？

～5分10分簡単作品と飛騨高山民芸品“さるぼぼ”～

座長：神谷 友美(矢嶋小児科小児循環器クリニック)

診察や予防接種など“頑張ったで賞”や来院したお土産に、子どもたちに折り紙を渡しませんか？混雑時の診察の待ち時間に待合室でサッと折れるもの、子どもと一緒に折れるものをいくつか用意しています。折り紙が苦手な方でも、一つは折り方を覚えて帰り、子どもたちへのお土産として、壁面飾りとして日々子どもたちとの関わりに役立てていただければ嬉しいなと思います。

飛騨地方で有名なさるぼぼには「子どもたちが元気に育ちますように」「元気な赤ちゃんが産まれますように」「家庭円満」「病が去る」などの思いが込められています。そんなさるぼぼが折り紙で作れちゃいます。

気分転換にぜひお立ち寄りください。

---

9月7日(土)・9月8日(日)

高山市民文化会館・高山グリーンホテル・高山市立南小学校 各所

景品交換所：4F 展示会場(4-7 大会議室 - 高山市民文化会館)

## スタンプラリー & 大抽選会

今回の学会は高山市民文化会館を中心に高山グリーンホテル、高山市立南小学校に会場を分けて開催し、それぞれの会場のどこかにスタンプを設置します。

スタンプ台紙は年次集会プログラムと一緒に郵送されるポケットガイドについています。

必要個数を集めていただくと、先着順で会頭推薦の飛騨ならではの景品を進呈いたします！また、会頭は一発逆転の隠しスタンプを持っている時があります。会頭を見かけたらぜひお声がけください！スタンプ以外にも「良いもの」を持っているかもしれませんよ～。

最後の閉会式では大抽選会も予定しています。1等は豪華賞品、2等、3等も最後までいて良かったと思っただけの賞品を準備しています。どうぞ最後まで学会を楽しんでください。

## 20. 懇親会のご案内

日 時：9月7日（土） 18:00～20:30  
会 場：高山グリーンホテル 天山  
参加料：10,000円（税込／お一人あたり）

参加者の懇親と情報交換の場として懇親会を行います。  
ホテル自慢のビュッフェ形式のお食事、ユネスコ無形文化遺産に登録されている郡上おどりの体験をお楽しみください。

※お申込みには年次集会の参加登録が必要です。  
※事前申込で満員の場合は、当日参加の受付は行いません。事前のお申込みをお勧めします。

申込期間：2024年4月15日（月）～7月31日（水）  
年次集会ホームページで詳細をご案内しています。確認の上お申し込みください。



提供：郡上八幡観光協会

## 21. 夕食プラン・エクスカージョンのご案内

申込期間：2024年4月24日（水）～7月31日（水）

年次集会ホームページで詳細をご案内しています。確認の上お申し込みください。

年次集会ホームページ：https://www.knt.co.jp/ec/2024/33sagpj/



### 夕食プラン

市内の飲食店はとても混み合いますので、特に大人数の場合は、事前のご予約をお勧めします。

飛騨牛はもちろん、飛騨の郷土料理や地酒がお楽しみいただける自慢のお店をご案内します。

設定日：9月7日（土）

税込 / 1名

味の与平	極上の飛騨牛を専用の鉄板焼きで提供します * 飲み物は別料金になります。	3,800円
熟成飛騨牛焼肉 GYU - SUKE	煙が出にくい次世代型無煙ロースターで焼き上げる最高級の熟成飛騨牛を焼肉スタイルで提供します * 飲み放題付き	9,000円
飛騨牛一頭買い 焼肉・灯り家	A4・A5等級飛騨牛のきめ細やかでやわらかい肉質と、美しい霜降り飛騨牛を焼肉スタイルで提供します * 飲み放題付き	9,000円
飛騨牛焼きしゃぶ 灯り家の「はなれ」	大判カットされた飛騨牛にササッと火を通し、お野菜を巻いて特製ダレで楽しむ飛騨牛焼きしゃぶの専門店です * 飲み放題付き	9,000円
焼き鳥と肉巻き串 くしきん	一本一本丁寧に焼きあげる自慢の焼き鳥や肉巻き串をはじめ、飛騨の郷土料理や地酒がお楽しみいただけます * 飲み放題付き	9,000円

### エクスカージョン

飛騨エリアをはじめ近郊の人気観光スポットを満喫いただける日帰りツアーをご用意しました。多くの方のご参加をお待ちしております。

設定日：9月7日（土）・8日（日） ※最少催行人員 20名 ※昼食付（上高地ツアーはお弁当）

税込 / 1名

料亭洲さき ランチツアー	寛政六年（1794年）創業、岐阜県最古の老舗料亭で食する宗和流本膳ランチをお楽しみいただけるツアーです	14,000円
世界遺産 白川郷ツアー	世界遺産白川郷合掌造り集落のフリータイムと飛騨牛朴葉焼きランチをお楽しみいただけるツアーです	10,000円
上高地ツアー	山岳景勝地として人気の上高地をトレッキングや自由散策でお楽しみいただけるツアーです	10,000円
レールマウンテンバイク ガッタンゴーツアー	電動自転車と廃線後の鉄路を組み合わせたアクティビティで大自然を肌で感じる人気ツアーです。またニュートリノの研究で有名なカミオカンデの模型を展示するカミオカラボもお楽しみいただけます	11,000円





生物由来製品、処方箋医薬品<sup>※1</sup>  
**抗RSウイルスヒト化モノクローナル抗体製剤**  
 **シナジス<sup>®</sup>筋注射液** 50mg / 100mg  
薬価基準収載 <筋肉内注射用パリスズマブ(遺伝子組換え)製剤> **SYNAGIS<sup>®</sup>**  
注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

製造販売元(文献請求先)  
**アストラゼネカ株式会社**  
 大阪市北区大深町3番1号  
 ☎0120-189-115  
(問い合わせフリーダイヤル メディカルインフォメーションセンター)

効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む使用上の注意等については、添付文書をご参照ください。

2021年7月作成  
 SNG004

## 塩野義製薬の 感染症領域におけるCSR\*推進活動

塩野義製薬は「感染症の脅威からの解放」に取り組むべき社会課題の一つとし、感染症薬の研究・開発・適正使用の推進に努めています。

2018年4月に、CSR推進部 適正使用推進室を新設し、感染症に関する様々な問題に挑み、皆さま方の感染症対策に少しでも貢献できるように積極的に取り組んでいます。

\* Corporate Social Responsibility (CSR) 企業の社会的責任(社会・環境・経済等に対する企業の責任)



### 塩野義製薬 感染症関連サイト

	<b>災害・避難 感染症ナビ</b>			<b>高齢者感染症ナビ</b>	
	<b>女性感染症ナビ</b>			<b>こども感染症ナビ</b>	
	<b>マスクギャザリング 感染症ナビ</b>			<b>新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)</b>	

beurer 非加熱式ネブライザ IH Series

信頼のドイツ製



医療機器届出番号：1181X00001000071  
医療機器届出番号：1181X00001000072  
医療機器届出番号：1181X00001000073



IH60 (内臓バッテリータイプ)



IH58 (成人・小児用)



IH58Kids (乳幼児用)

詳しくはスキャン



KUPUKUPU  
ONLINE

# ドイツ製最新ネブライザ

販売総代理店

株式会社東京エム・アイ商会

〒135-0023 東京都江東区平野3-2-6

TEL 03-6458-5588 FAX 03-6458-5518

製造販売元 アイ・エム・アイ株式会社



世界中のあかちゃんへ  
スターバンドが創る未来

starband  
When nature needs a nudge™

The ONE & Only  
STARband®



医療機器承認番号:23100BZX00034000

輸入・販売元/お問合せ先



株式会社 AHS Japan Corporation

〒530-0051 大阪市北区太融寺町2-18 TEL.06-6314-1122 FAX.06-6314-1123

■info@ahsjapan.com ■http://www.ahsjapan.com ■http://www.facebook.com/ahsjapan

